



京都女子大学 大学院

2024

文学研究科 発達教育学研究科 家政学研究科

現代社会研究科 法学研究科

Kyoto Women's University Graduate School



深い思索をもとに 新たな知見を獲得 社会に貢献できる 知の専門家を育成

京都女子大学大学院では、専門知識と課題解決能力を兼ね備えた研究者、高度な専門職の担い手として社会や地域に貢献できる人材の養成を図っています。

京都・東山という素晴らしい学修環境のなか、奥深い知への探求心とたゆまぬ努力をサポートし、一人ひとりの専門性を高める――。

そんな日々が京都女子大学大学院にはあります。



学 長

竹安 栄子

Takeyasu Hideko

京都女子大学大学院は、昭和 41 年（1966 年）に文学研究科と家政学研究科の 2 研究科で発足し、その後、学部の新設や改組にあわせて、現代社会研究科と発達教育学研究科が開設されました。さらに、平成 27 年（2015 年）4 月には法学研究科修士課程が開設されました。女性の視点に立って法や人権にかかわる問題に取り組む、高度な法知識を持つ人材の育成を目指します。

現在の大学院教育は、大学やその他の研究機関で働く研究者の育成だけでなく、企業、公共機関、NGO など様々な職場で高度な専門知識をもつ実務担当者の育成が社会から期待されています。現代の社会はグローバル化、情報化などの流れの中でより複雑なものとなり、学士課程の教育だけでは対応できない部分が拡大しています。外国では、修士号や博士号を持つ実務家たちが、組織のリーダーとして、また高度専門職として活躍しています。残念ながら日本では、大学院生に占める女性の割合が OECD 諸国の中でもっとも低いのが現状です。これが大学教員に占める女性教員の割合の低さやさまざまな分野の意思決定領域の女性比率の低さの理由の一因になっています。社会をリードする人材を育成するための大学院教育の重要性が広く認められるようになってきました。

京都女子大学の大学院教育では、教員と学生が 1 対 1 で向き合いながら、学生の志望や目的にあわせてプログラムを選択するという、手作りの大学院教育を目指しています。優れた研究実績を持つ教員団の指導の下で、学生は学士課程の基礎教育の上に、もう一歩ステップアップした知識やスキルを、さらにはより高度な思考力を獲得することができます。一度社会に出てから、または子育てを終えてから大学院で学びなおすという道も開かれています。一人でも多くの女性が未来に向けて大学院にチャレンジしていただきたいと願っています。

C o n t e n t s

1-2	学長あいさつ／研究科一覧
3-6	文学研究科
7-12	発達教育学研究科
13-18	家政学研究科
19-22	現代社会研究科
23-26	法学研究科
27-28	募集人数／学位授与状況 奨学金／就職等状況
29-30	入試日程／学修環境 サポート体制／受入制度

研 究 科

文学研究科

国文学専攻	博士前期課程	博士後期課程
英文学専攻	博士前期課程	博士後期課程
史学専攻	博士前期課程	博士後期課程

発達教育学研究科

教育学専攻	博士前期課程*	博士後期課程
心理学専攻	博士前期課程	
表現文化専攻	修士課程	
児童学専攻	修士課程	

家政学研究科

食物栄養学専攻	博士前期課程	
生活造形学専攻	博士前期課程	
生活福祉学専攻	博士前期課程*	
生活環境学専攻		博士後期課程

現代社会研究科

公共圏創成専攻*	博士前期課程	博士後期課程
----------	--------	--------

法学研究科

法学専攻*	修士課程
-------	------

*大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用し、
社会人でも修学できる環境を整えています。

文学研究科

Graduate School of Letters

博士前期課程

国文学専攻

国文学・国語学・漢文学の3研究領域を設け、学部段階で培った専門知識に加え、より高度な文献・資料の読解力を養成し、自ら課題を発見し研究を推進する能力を獲得することをめざします。修了後、専門知識を生かして、教育者、研究者として、さらには広く社会で活躍する人材として、堅実な第一歩を踏み出すことが期待されています。

国文学領域 古代・中世・近世・近代の各時代の文学について、幅広く探求します。

国語学領域 国語の歴史や国語を取り巻くいろいろな問題について考えていきます。

漢文学領域 日本文学に大きな影響を与えた中国文学作品や日本漢文学作品を読解・鑑賞する能力を育成しています。

英文学専攻

英米文学・英語学の分野で体系的に専門教育を行うとともに、広く英語圏の社会や文化に関する授業科目および専門的文献の読解や英語論文の作成に習熟するための科目を用意しています。研究者としての基礎を身につけると同時に、中学・高校の教員や国際交流にたずさわる職業人として、グローバルな情報社会に対応するのに十分な語学力と分析力を養成することをめざしています。

史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の3研究領域を設け、それぞれの専門領域を深めるとともに、総合的で学際的な歴史の究明をもめざしています。日本史・東洋史の研究領域に西洋史研究領域を加えることにより、日本とアジアだけでなく地球的な視野のもとで、人文・社会科学の学識の統合、学際化という時代の要請に応えていきます。

博士後期課程

国文学専攻

国文学・国語学・漢文学の3研究領域を設け、さらに専門化した課題の追究をめざしています。

国文学領域 古代・中世・近世・近代の各分野にわたって指導体制が整えられ、隣接・関連する研究の成果・情報に通じた各分野の教授陣の演習・講義が用意されています。

国語学領域 歴史的な研究や現代語の研究には、未解決の魅力的な問題がまだ山積しています。広い視野を持ち、特定の課題を徹底的に探究することをめざしています。

漢文学領域 日本漢詩・漢文を含む漢文学は、多くの課題を有した将来性のある研究分野であり、日本の漢文学と中国文学との有機的な結合をめざして、広い視野からの研究指導が行われています。

英文学専攻

英米の言語・文化に関して一層高度で広い知識と研究方法を修得し、総合的な視野に立って、日本社会と英米文化圏との橋渡しを行う人材の養成をめざしています。

近年、欧米を中心として社会や文化・言語研究の分野で起こった急激な変動を受けて、従来のような狭い意味での専門家ではなく、多角的な視点と柔軟で大胆な発想にもとづいた研究の担い手が求められています。この要請に応じて、社会と文化の媒体としての言語現象に関する多様な考察・研究と、文化の所産であり担い手である文学の高度な分析・解釈の方法を確立することをめざして、英語学、英文学、米文学の研究領域を設けています。

史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の3研究領域を設け、研究職や高度な専門業務に従事するために必要な研究能力と豊かな学識を養うことを目的としています。そのため、博士前期課程を修了し、自立した研究者になることをめざす人はもとより、歴史に関する高度な専門知識・教養を身につけ、専門的職業人をめざしている人、博士号の取得をめざしている人に門戸が開かれています。

博士後期課程では、これまで行ってきた研究をさらに深め、博士論文を作成することが究極の目標となります。そのため、入学後には速やかに指導教授の指導を受けて「研究課題」を定め、「研究計画」を提出し、論文完成への見通しを立てます。この間、指導教授はもとより、他研究領域の教員からも助言を受けて、研究成果を発表する機会を設けています。

研究・指導体制

国文学専攻

個々の学生の理論的知見をもとにした研究成果が、研究課題の解明に資するべく、個別指導を徹底し、きめ細かい論文作成指導を実施しています。

英文学専攻

個々の学生が選んだ研究テーマを十分に深め、展開していけるよう、きめ細かく個人指導を行い、学会発表の機会も与えつつ、論文作成を支えています。

史学専攻

各学生の研究の専門性を深めるために、徹底した個別指導を行うとともに、日本史・東洋史・西洋史の史学全般についても幅広く学べるような教育体制をとっています。

学位	修士	博士
国文学専攻	修士の学位…修士（国文学）	国文学専攻 博士の学位…博士（文学）
英文学専攻	修士の学位…修士（英文学）	英文学専攻 博士の学位…博士（文学）
史学専攻	修士の学位…修士（史学）	史学専攻 博士の学位…博士（文学）

資格取得	教員免許		
文学研究科	国文学専攻	高等学校教諭専修免許状	国語
		中学校教諭専修免許状	国語
	英文学専攻	高等学校教諭専修免許状	外国語「英語」
		中学校教諭専修免許状	外国語「英語」
	史学専攻	高等学校教諭専修免許状	地理歴史
		中学校教諭専修免許状	社会

※専修免許状の取得にあたっては、当該教科の「一種免許状」を有する必要があります。

過去の 修士論文題目(例)

専攻	修士論文題目
国文学	歌謡「いとゆふ」の変遷 —漢語「遊糸」から『六百番歌合』までを中心に—
国文学	樋口一葉「うつせみ」草稿研究 —草稿から発表稿へ至る過程に着目して—
国文学	詩語「雲林」の変遷
国文学	『我身にたどる姫君』『音羽山』試論 —都を希求する山里の姫君のための舞台—
国文学	谷崎潤一郎「魔術師」に描かれる架空の街 —燦爛たる異空間の演出—
国文学	『木幡の時雨』の『源氏物語』夕顔巻の受容 —「五条わたりのあばらや」と八月の時雨—
国文学	統語論的に見た助詞「へ」の待遇的用法についての一知見
英文学	The Mind and the Heart in Harmony Depicted in John Okada's <i>No-No Boy</i>
英文学	Teaching the Progressive Form in English
英文学	Some Problems about the Acquisition of “-ish” for Japanese Learners
英文学	Irony toward Class Consciousness Revealed in the Relationships among the Female Characters in <i>Emma</i>
史学	十・十一世紀における女院創設の要因と存在意義
史学	古記録からみる院政期の袴着用について
史学	鎌倉後期から南北朝期における法家中原氏の動向
史学	上田藩松平家における人事管理と足輕の藩官僚的特質
史学	近世期における祇園会と都市構造 —轅町を中心に—
史学	1920年代における日中文字画交流に関する考証 —大村西崖の交流活動を中心に—
史学	張作霖の安国軍総司令就任とその背景 —軍閥間の関係性を中心に—
史学	ヘレニズム期テュロスの文化と社会 —ギリシア化の問題を中心に—
史学	中世ラインラントにおけるユダヤ人共同体の特異性
史学	15-17世紀のフランス・スイス国境地域の魔女裁判
史学	16-17世紀ロシアにおけるモスクワの発展と商業構造の変化

過去の 博士論文題目(例)

学位の種類	論文題目
【課程博士】	国文学専攻
博士(文学)	菅原道真の漢詩文における『莊子』の受容
博士(文学)	源氏物語の人物造型 —金剛醜女説話の受容について—
	英文学専攻
博士(文学)	E.M.Forsterの作品における「ファンタジー」の諸相
博士(文学)	イギリス小説におけるポストヒューマンの表象 —『フランケンシュタイン』から『わたしを離さないで』まで
	史学専攻
博士(文学)	平安時代の即位儀礼と仏舎利信仰 —一代一度仏舎利使をめぐる—
博士(文学)	伊勢斎王制度の研究
	【論文博士】
博士(文学)	戦前期のニューヨークの日本人社会とメディア研究
博士(文学)	源氏物語の表現と和歌 —後撰集を起点とした展開—

文学研究科 教員組織

国文学専攻

博士前期・後期課程指導教員

大谷 俊太 教授 [博士(文学)]

- 中世・近世国文学
- 中世・近世宮廷文学の研究／室町末・近世初期近衛家の文事／和歌／連歌／狂歌／俳諧研究
- 新出・新潟吉田文庫所蔵「心敬難題百首自注」について
- 三藐院近衛信尹筆「笑話書留」について
- 後水尾院・後西院述、近衛基熙記、諸道問書「御手拍」解題と翻刻
- 伊勢物語と旧注—宗祇・三条西家流注釈の論理—

中前 正志 教授

- 国文学
- 宗教説話と説話文学の研究／中世仏教文学の研究／国文学と神仙思想・道教の関係についての研究
- ▲ 「神仏霊験譚の息吹き」—寺院内外伝承の原理 縁起通史の試みから—
- 「列徳寿媛」が仕掛けた説話の擬似体験—附「粗拙」久米仙人墜落説話利用略史—
- 「不可逆性透明人間あらわる!」—「今昔物語集」巻十六第三十二話—

峯村 至津子 教授 [博士(文学)]

- 日本近代文学
- 明治期の文学／樋口一葉／泉鏡花
- ▲ 新日本古典文学大系明治編「翻訳小説集 一」
- ▲ 「一葉文学の研究」
- 泉鏡花「外科室」の語り手—天なく、地なく、社会なく—
- 泉鏡花「外科室」の口絵—「外科室」注釈序章—
- 「非現実」への通路—泉鏡花「外科室」の舞台設定—
- 心に吹く風—樋口一葉「闇桜」論(その一)—
- 恋とは我心に咲出し花—樋口一葉「闇桜」論(その二)—
- 泉鏡花「愛と婚姻」の再検討
- 「恋愛至上」の描き方—泉鏡花「外科室」論—
- 吉井勇脚色、「地獄変」台本翻刻—芥川龍之介「地獄変」の舞台化—

坂本 信道 教授 [博士(文学)]

- 平安時代の文学
- 平安時代物語の研究／日記文学の研究／古注釈書の研究
- ▲ 「えせ兄妹」—浜松中納言と吉野姫君の恋物語と構想—
- 或作家への報告—王命婦と光源氏—
- カタカナ表記「土佐日記」の登場と意義—貫之の評価の視座から—
- 写本における「无」文字消長—藤原定家自筆本を中心に—

田上 稔 教授 [博士(文学)]

- 国語学
- 連体修飾／準体法／方言
- 京都女子大学図書館所蔵「神代紀」(吉澤文庫)影印・翻刻及び解説
- 万葉集の準体句—ク語法と準体法連体形と—
- 準体法の系譜

中島 和歌子 教授

- 漢文学
- 日中比較文学／平安朝の文学と生活／漢文日記
- ▲ (共著)「藤原道長事典—御堂関白記からみる貴族社会—」
- 白話語「撥簾」受容考—菅原道真を中心に—
- 「枕草子」初段「春は曙」の段をめぐる—和漢の融合と、紫の雲の象徴性—
- 陰陽道における医書の重要性と色選びの独自性—八卦忌や出産儀礼を中心に—

博士前期課程指導教員

小山 順子 教授 [博士(文学)]

- 古典和歌
- 新古今時代の和歌表現／室町時代の禁裏文芸
- ▲ 「(コレクション)日本歌人選」藤原良経
- ▲ 「(ブックレット)書物をひらく」和歌のアルバム—藤原俊成 詠む・編む・変える—
- ◆ 「和歌のルール」(笠間書院)
- 「『新古今和歌集』における藤原俊成」
- 「室町時代の女性歌人たち」

博士前期課程授業担当教員

中西 俊英 准教授 [博士(文学)]

- 仏教学
- 東アジア地域における仏教受容と教理解釈の展開
- Fanwang jing shu 梵網經疏 of the Tōdaiji Temple Library Collection
- 地婆訶羅訳「大方広仏華嚴經入法界品」と「華嚴經」諸テキストの形成
- ◆ (共著)「東アジア仏教思想史の構築 凝然・明恵と華嚴思想」
- ◆ (共著)「唐招提寺第二十八世凝然大徳御忌記念凝然教学の形成と展開」
- ◆ (共著)「仏典解題事典 改訂新版」

英文学専攻

博士前期・後期課程指導教員

金澤 哲 教授 [博士(文学)]

- アメリカ文学
- 20世紀アメリカ文学、特にウィリアム・フォークナー
- ▲ 「フォークナーの『寓話』—無名兵士の遺したもの」
- ▲ (編著)「アメリカ文学における『老い』の政治学」
- ▲ (編著)「ウィリアム・フォークナーと老いの表象」

鴨川 啓信 教授 [博士(文学)]

- 英文学
- 物語の語り直しとアダプテーション
- ▲ 「グレーム・グリーン」の小説と物語の繰り返し
- 物語アーカイブスの拡大—「シャーロック・ホームズ」物語を事例とした考察—
- Hamlet Updated—舞台変更による物語更新について—

佐伯 恵子 教授 [博士(文学)]

- アメリカ文学
- T.S.エリオットの詩劇・詩／アメリカの小説や劇
- ▲ 「T.S.エリオット詩劇と共同体再生への道筋」
- ▲ 「モダンにしてアンチモダン T.S.エリオットの肖像」
- ▲ 「四月はいちばん残酷な月 T.S.エリオット『荒地』発表100周年記念論集」
- 「女嫌い」「女殺し」の系譜—T.S.エリオット作品の女たち—
- Fanny Marlowの物語—もうひとつの“Tom and Viv”—
- Charles WilliamsとT.S. Eliotの殉教劇—Thomas Cranmer of Canterburyを中心に—
- Djuna Barnes, *Nightwood*の2つの世界—T.S. Eliotの「序文」の効用—

日高 真帆 教授 [博士(人間・環境学)]

- 舞台芸術・比較芸術・比較文化
- 世紀末から現代までの比較芸術・比較文化／舞台芸術・映像芸術・翻案研究
- ▲ *Wilde's Other Worlds*
- ▲ *Oscar Wilde Reappraised: Fiction and Plays*
- ▲ 「比較文化への視点」
- ▲ 「越境する文化」
- ▲ 「女性・演劇・比較文化」
- ▲ 「英国演劇の真髄」
- Portraits on the Human Body: Japanese Adaptations of Oscar Wilde by Junichiro Tanizaki
- When Japanese Tradition Meets a Western 'Wit and Dramatist': Japanese Reception of Wilde's Comedies in the Meiji Era
- 日本初演ミュージカルへの取り組み—バーナード・J・テイラー作品を上演して—

松原 史典 教授 [博士(文学)]

- 英語学(統語論・語法文法研究)
- 文の構造と派生に焦点をあて、文法理論(生成文法・ミニマリスト統語理論)を用いて、さまざまな文法現象を原理的に解明する。また、語法・用法や情報構造に重点をおいた構文研究にも従事している。
- ▲ 「ことばの意味と使用:日英語のダイナミズム」
- ▲ 「ことばの仕組み:最新英語言語学入門」
- ▲ 小・中・高等学校における学習段階に応じた英語の課題解決型言語活動自律する言語使用者の育成
- A/P Phases (Linguistic Analysis 30,127-161)
- A Minimalist Approach to Passive Constructions (Linguistic Analysis 32,130-183)
- Remarks on Chomsky's (2008) Analysis of Extraction from Subject (English Linguistics 25, 464-474)

博士前期課程指導教員・博士後期課程指導補助教員

木村 マリアン 教授

- English and American Literature
- Early Modern British Literature／Shakespeare／Ecocriticism
- "Oh I have read it; it is heresy": Giordano Bruno's "Gli Furori" as a Major Source for Shakespeare's "Twelfth Night"
- "Stand and Unfold Yourself": Prince Hamlet Unmasked

John Campbell-Larsen 教授

- Second Language Acquisition
- Conversation Analysis

- Spoken narrative: Multiple voices, multiple perspectives
- Interactional competence: What is it and (how) can we teach it?
- Free conversation: A legitimate use of class time?
- Interactional Competence in L2 learning: Is it taught or activated?

博士前期課程指導教員

荏中 孝之 教授 [博士(文学)]

- 英文学・比較文学
- 20世紀イギリス文学、特にカズオ・イシグロ

- ▲ (単著)『カズオ・イシグロ—日本とイギリスの間から』
- ▲ (共編著)『カズオ・イシグロの視線—記憶・想像・郷愁』
- ▲ (共著)『カズオ・イシグロ「わたしを離さないで」を読む』
- ▲ (共著)『カズオ・イシグロと日本—幽霊から戦争責任まで』

谷 光生 准教授

- 理論言語学
- 非瞬時的な言語習得モデルに基づく英文法研究

- ▲ Empirical and Theoretical Investigations into Language
- 概念空間における非連続性について
- ◆ 英語教育における英語の詩と詞
- 小中高連携に向けた理論と実践—

中村 善雄 准教授 [博士(文学)]

- アメリカ文学
- 19世紀のアメリカ文学、特にヘンリー・ジェイムズ

- ▲ (編著)『ヘンリー・ジェイムズ、いま—没後百年記念論集—』
- ▲ (編著)『水と光—アメリカの文学の原点を探る』
- ▲ (共著)『エコクリティシズムの波を超えて—一人新世の地球を生きる』
- ▲ (共著)『身体と情動: アフェクトで読むアメリカン・ルネサンス』

福島 知津子 准教授 [博士(学校教育学)]

- 英語教育学
- 日本人英語学習者に対するライティング指導法の開発／ライティング指導におけるフィードバックの研究／EUにおける、特にフィンランドにおける英語教育政策

- ▲ A Study on Interactive Writing Instruction for Japanese EFL Learners.
- 日本人大学生の英語ライティングへのフィードバックに対する学習者の意識に関する研究—内容中心教授法に基づくライティングタスクへの筆記フィードバックについての調査分析—
- フィンランドの中学生によるキーワード英文文に関する研究

史学専攻

博士前期・後期課程指導教員

梅田 千尋 教授 [博士(文学)]

- 日本近世史
- 近世の宗教社会史／民間宗教者／陰陽道と暦

- ▲ 『近世陰陽道組織の研究』
- 土御門家の家職と天文暦算
- 近世の神道・陰陽道

桑山 由文 教授 [博士(文学)]

- 西洋古代史
- ローマ帝国政治史／ローマ帝政期のギリシアや地中海の諸文化

- パンヘレニオンとローマ帝国
- 元首政期ローマ帝国とギリシア知識人
- 元首政期ローマ帝国におけるギリシア世界の変容—東部出身元老院議員の台頭とアテナイ—

坂口 満宏 教授 [博士(文化史学)]

- 日本近代史
- 日本移民史／近代日本における異文化接触の諸問題

- 福島県における市町村別ブラジル移民の輩出地とその変遷—1930年代の国策移民と1950年代の戦後移住—

谷口 淳一 教授 [博士(文学)]

- イスラム時代の西アジア史
- イスラム社会における宗教知識人／中世イスラム国家の文書行政

- ▲ 『聖なる学問、俗なる人生—中世のイスラム学者—』
- マムルーク朝時代のアレクソにおけるイスラム宗教施設

告井 幸男 教授 [博士(文学)]

- 日本古代史
- 部民制／律令制／儀式・貴族・官人

- ▲ 『摂関期貴族社会の研究』
- ◆ 『講座 畿内の古代学』
- ◆ 『恋する日本史』
- ▲ (共編著)『論点 日本史学』

本田 毅彦 教授 (Ph.D. Modern History)

- 西洋近現代史
- イギリス帝国史／英印関係史

- 英領インド帝国の「建国の母」を記憶させる試み—ヴィクトリア・メモリアル・ホール(カルカッタ)の消長
- 最後のデリー・ダーバーはなぜ回避されたのか—1930年代後半の英領インドをめぐる諸情勢
- 1970年代のイギリス王室ソープ・オペラを読み解く

博士前期課程指導教員・博士後期課程指導補助教員

母利 美和 教授

- 日本近世史
- 近世藩政史／近世官僚制論／幕末政治史

- 彦根藩足輕組の軍事編成と組織運営
- 近世大名家臣団の官僚制と軍制—彦根井伊家の場合—
- 彦根藩普請方の組織と機能
- 『幕末維新の個性6 井伊直弼』2006年

博士前期課程指導教員

小林 瑞穂 准教授 [博士(史学)]

- 日本近現代史
- 日本海軍の水路業務／日本海軍における国際協調性と非協調性の考察／軍事思想と測量の関係

- ▲ 『戦間期における日本海軍水路部の研究』
- シベリア出兵と日本海軍水路部—ロシア沿岸「内密」測量の過程—
- 日本海軍の北樺太油田獲得と水路部—シベリア出兵期における北樺太測量を中心に—

小原 嘉記 准教授 [博士(文学)]

- 日本中世史
- 中世荘園制／宗教社会史／政治制度史

- 鎌倉中期の東大寺大勧進に関する基礎的考察(上・下)
- 都鄙往還の政治学
- 14世紀の大応派五山僧のネットワークと尾張妙興寺
- 畿内の国郡司と受領

西岡 健司 准教授 (MPhil.with distinction Medieval Scottish Studies)

- 西洋中世史
- 中世スコットランドのネイション形成史／教会史／貨幣史

- ▲ (共著)『中近世ヨーロッパ史のフロンティア』
- ▲ (共著)『コミュニケーションから読む中近世ヨーロッパ史—紛争と秩序のタペストリー』
- Scots and Galwegians in the 'peoples address' of Scottish royal charters

箱田 恵子 准教授 [博士(文学)]

- 中国近代史
- 中国近代の対外関係／外交制度史

- ▲ 『外交官の誕生—近代中国の対外態勢の変容と在外公館—』
- ▲ 『出使日記の時代—清末の中国と外交—』
- 琉球処分をめぐる日清交渉と仲裁裁判制度

藤本 猛 准教授 [博士(文学)]

- 中国近世史
- 中国近世の政治制度史／宦官の研究

- ▲ 『風流天子と「君主独裁制」—北宋徽宗朝政治史の研究』
- 北宋「滅び」への道程—「二帝北狩」の成立過程
- 宋初四代の帝位継承と宦官

発達教育学研究科

Graduate School of Human Development and Education

博士前期課程

教育学専攻

現代の教育は、ますます多様化・個別化し、これまで見られなかった新しい課題に直面しています。その現状を踏まえ、教育を可能な限り個別的かつ総合的に解明し、その問題点の抽出と分析を通じて教育に関する新たな知見を構築する能力の育成を目指しています。

具体的には、①社会教育や家庭教育を含めた教育学の諸領域の研究・教育に加え、②今日の教員養成の高度化に対応して、教科教育、特別支援教育における専門的力量的養成・教育、③学校や幼稚園、社会教育施設などでフィールド研究を行います。

また、現職教員に大学院での学び直し、専修免許状取得の機会を提供し、学校教育において指導的役割を果たす教員の養成を図ります。

心理学専攻

心理学領域

社会に出て役立つ高度な心理学の専門的知識の修得、および実践能力の育成をめざしています。心理学の専門職の養成や博士後期課程に進学し博士(教育学)の学位を取得するための教育を行います。また、幼稚園教諭および小学校教諭一種免許状を取得した学生に対して、心理学の専門的知識を持った教員や教育関係者の養成のための特色ある教育を行っています。

臨床心理学領域

公認心理師の資格取得を目指す人のために充実した実践的な教育を行います。「公認心理師」国家試験の受験に対応したカリキュラムを構成し、保健医療、教育、福祉などの各分野で実習を行い、臨床心理学の専門職を養成します。また、心理学領域と同様、博士後期課程に進学し博士(教育学)の学位を取得できる心理学の研究者の養成も同時に行います。

博士後期課程

教育学専攻

教育学と心理学の2つの研究領域を設け、すぐれた研究能力と学問的意欲にあふれる専門的研究者の育成を図ります。

教育学領域

博士前期課程の研究・教育の方向性を踏襲し、さらに高度な専門的能力を育成することによって、教育現象の分析とそれに基づく教育学諸領域の理論の検討・構築にあたり、それらの成果を踏まえた博士論文の作成をめざします。

心理学領域

博士前期課程の心理学領域および臨床心理学領域における基本的な方針を引き継ぎ、さらに高度な研究を行っていくことを通じて、専門的業務に従事するための学識や研究能力を進展させ、また学位の取得にむけた研究活動を展開していきます。

修士課程

表現文化専攻

表現文化の研究領域を細分化・固定化するのではなく、相互の交流と統合を図ることに重点を置く教育課程の編成と指導体制をとっています。そして、授業科目に「統合を図る科目群」を配して広い視野から表現文化を捉え、表現文化を創造できる能力・資質を身につけることができますようにしています。

その一方で、個別の専門性を高め、指導性を発揮することのできる高度な実践的能力を育成する必要があるため、学生一人ひとりが独自の専門領域で研究を深めることができるように、言語、音楽、造形、運動・舞踊の領域ごとに「固有領域の深化を図る科目群」を配しています。

また、現職教員、職業を持つ社会人および家庭人にも積極的に門戸を開き、新しい「表現文化」を主軸にした、学校教育の統合的展開や、社会における文化的活動の実践あるいは企画経営に参画できる人材育成をめざします。

さらに、生活や遊びの中に見られる人間性に根ざした表現活動に典型を求めつつ、人間的なコミュニケーション能力を育成する教育のあり方を考えていきます。

児童学専攻

児童発達学、児童保健学、児童文化学の3分野を設け、児童の心身の発達や健康、生活や文化、表現について専門的知識と科学的に研究し表現する力を身につけ、児童の育ちやそれに関わる方々を支える専門的職業人や研究者を育成します。

児童発達学分野

発達心理学の観点から、子どもの認知やパーソナリティ発達、親子関係などに焦点をあてながら、研究を行います。さらに、子どもの発達の偏りや障害への支援も含めて、子ども・子育てに関する臨床的課題、あるいは児童福祉の観点からの制度的課題について、実践的に研究します。

児童保健学分野

保健学の観点から、子どもの健康に影響を及ぼす要因について疫学調査や実験研究を行い、子どもの健康増進に関する実証的な研究を展開しています。主な研究としては、体格・体組成に関する研究や、身体活動・運動、食行動に関する研究、体力・運動器機能の評価や運動遊びに関する研究などに取り組んでいます。

児童文化学分野

児童文化学の観点から、子どもをとりまく生活と文化の問題について研究を行います。研究課題や方法は多岐にわたり、児童文学や絵本の作品論・作家論をはじめ、子どものための文化財・文化施設や子どもの生活史と現状に関する調査、子ども向けの文化産業における問題の検討、遊びに包括される(感性の育ちをねらった)造形・音楽・身体による表現活動についての実践的な研究などに取り組んでいます。

研究・指導体制

教育学専攻	専門分野の指導教員を中心に少人数対象の研究指導を行いつつ、自律的な思考能力、問題解決能力の向上を図っています。
心理学専攻	専門分野の指導教員を中心に少人数教育によるきめ細やかな指導を行っています。
表現文化専攻	専門分野の指導教員を中心に他領域の教員もサポートしながら研究指導を行っています。
児童学専攻	専門分野の指導教員を中心に研究テーマの決定、研究計画の作成、研究の遂行、論文の作成などの指導を行っています。

学 位

修 士

教育学専攻	修士の学位…修士（教育学）
心理学専攻	修士の学位…修士（心理学）
表現文化専攻	修士の学位…修士（表現文化）
児童学専攻	修士の学位…修士（児童学）

博 士

教育学専攻	博士の学位…博士（教育学）
-------	---------------

資格取得

教員免許

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
発達教育学研究科	教育学専攻	小学校教諭専修免許状	
		幼稚園教諭専修免許状	
	表現文化専攻	高等学校教諭専修免許状	音楽
		中学校教諭専修免許状	音楽
		小学校教諭専修免許状	
	児童学専攻	幼稚園教諭専修免許状	

※専修免許状の取得にあたっては、当該教科の「一種免許状」を有する必要があります。

受験資格

研究科	専攻	受験資格の種類
発達教育学研究科	心理学専攻	公認心理師
	児童学専攻	臨床発達心理士

※臨床発達心理士の受験資格申請はあくまで各自で行うものです。臨床経験等により申請要件が異なります。資格取得をめざす受験生は、入試広報課を通じて、事前に専攻にお問い合わせください。

過去の 修士論文題目(例)

専攻	修士論文題目	専攻	修士論文題目
教育学	父親が青年期の娘の進路選択に与える影響に関する日中比較研究	表現文化	F.リスト《3つのペトルルカのソネット》に関する一考察 ～歌曲稿・ピアノ曲稿の変遷をめぐって～
教育学	中国ステップファミリーの教育における問題 —継親と実親の役割分担—	表現文化	山田耕筰が求めた歌唱表現の一考察 ～山田耕筰の言葉をもとに～
教育学	グローバル・コミュニケーションの視点に基づく小学校英語科の授業開発 —内容言語統合型学習の援用を通して—	表現文化	F.ショパン《Polonaise-Fantaisie》Op.61における一考察
教育学	過去を振り返り、未来を見据えるリフレクションを用いたキャリア教育のあり方に関する一考察	表現文化	日韓の伝統楽器のための楽曲創作と演奏実践 —複数のアイデンティティを持つ者としての表現
教育学	食育が児童の給食に対する態度に及ぼす影響	表現文化	ドイツ歌曲の歌唱法について ～ロベルト・シューマン《女の愛と生涯》Op.42に表された言葉と表現に着目して～
心理学	精神的苦痛と睡眠の質の関連性におけるセルフ・コンパッションの影響	表現文化	コンテンポラリーダンス作品の創作過程における反省的実践についての研究 —振付師とダンサーの相互作用による動きの質の変化に関して—
心理学	老年的超越と主観的Well-beingとの関連性における人生の意味の媒介効果	児童学	幼児における運動器機能と体格・体組成との関連性
心理学	青年期における過剰適応傾向とストレス反応及び主観的幸福感の関連 —セルフ・コンパッションに着目して—	児童学	幼児における体脂肪に影響を及ぼす要因の検討
心理学	個人特性としての共感性が対象別の利他行動に及ぼす影響	児童学	5歳児クラス担任と幼児における信頼関係の検討： 学年末発表会の舞台裏の観察
心理学	運動機能と遂行機能との関連性についての神経心理学的研究	児童学	小児病棟における病棟保育士と看護師との連携
心理学	大域処理・局所処理の方向付けが有効視野に与える影響		

発達教育学研究科 教員組織

教育学専攻

博士前期課程指導教員

岩槻 知也 教授 [博士(人間科学)]

- 社会教育学、生涯学習論
- 成人基礎教育の内容・方法・制度／社会教育施設のサービスのあり方／「生涯学習」の理念と政策動向
- ▲ 「家庭・学校・社会で育む発達資産—新しい視点の生涯学習」
- ▲ 「日本の教育をどうデザインするか」
- ▲ 「社会的困難を生きる若者と学習支援—リテラシーを育む基礎教育の保障に向けて」
- ▲ 「子どもと家庭を包み込む地域づくり—教育と福祉のホリスティックな支援」
- 識字教育における方法の体系化に関する予備的考察
- 批判的リテラシー研究の動向とその意義
- イギリスにおける成人基礎教育政策の動向とその評価—政策の歴史の変遷
- What is 'educational support' for youth in social difficulties?: A qualitative study of support groups for literacy learning in Japan

表 真美 教授 [博士(学術)]

- 家族関係学、家庭教育学、家庭科教育学
- 教科書における家族像に関する歴史社会学的研究／子育て・家庭教育に関する実証的研究・歴史研究／ヨーロッパにおける初等・中等教育他
- ▲ (単著)「ヨーロッパの学校における食教育・家庭科教育」
- ▲ (単著)「家庭と教育—子育て・家庭教育の現在・過去・未来」
- ▲ (単著)「食卓と家族—食卓での家族団らんの歴史の変遷」
- フィンランドにおける家庭科の授業実践
- 保育者がとらえる子どもの自立と家庭教育—幼稚園教諭・保育士を対象とした質問紙調査から—
- 戦前期の「主婦之友」にみる既婚女性・母親の就労

坂井 武司 教授 [博士(情報学)]

- 数学教育学
- 算数・数学教育／教師教育
- ▲ 「深い学びを支える数学教科書の数学的背景」
- ▲ 「子どもの学びを深める新しい算数科教育法」
- ▲ 「深い学びを支える算数教科書の数学的背景」
- ◆ Logical analysis of ratio inference by children
- ◆ 割合に関する概念的知識と手続的知識の統合
- ◆ クリッカーを用いた数学的洞観力の育成に関する研究
- ◆ 算数教育におけるシンガポールの問題解決型学習過程に関する研究
- ◆ Development of program for "Global Lesson Study" in mathematics education

滝川 国芳 教授 [博士(医療福祉学)]

- 特別支援教育
- 病弱・身体虚弱教育 インクルーシブ教育システム
- ▲ (共著)「標準「病弱児の教育」テキスト 改訂版」
- ▲ (共著)「共生社会の時代の特別支援教育第3巻」

- 連携とコンサルテーション」
- 病気療養する子どもの復学時の不安軽減のための支援システムの検討
- 病弱教育における教育課程の編成と実施のための学習環境デザインと教育制度の動向
- インクルーシブ教育システムの構築のための病弱・身体虚弱教育の役割
- 日本の病弱・身体虚弱教育における教育情報の共有と活用に関する研究動向
- ◆ 日本の病弱・身体虚弱教育における特別支援教育体制の現状と課題—全国都道府県・政令指定都市を対象とした全数調査から—

松岡 靖 教授 [博士(教育学)]

- 社会認識教育学
- 社会科教育／メディア教育
- ▲ 「メディア社会に焦点化した小学校社会科カリキュラム開発研究」
- ▲ 「多様化時代の社会科授業デザイン」
- ▲ 「社会系教科教育研究のプレイクスル—理論と実践の往還をめざして—」
- 学習指導要領に依存した社会科授業からの改善方略—学習者の「状況」に着目した教科書メディアを相対化する授業改善を通して—
- 持続可能な社会の再構築を図る社会科ESD授業の開発—小5単元「青空を取りもどした北九州市」の場合—
- ◆ デジタル教科書を活用したアクティブ・ラーニング型社会科授業の開発

宮野 純次 教授 [博士(教育学)]

- 科学教育
- 理科教育学／環境教育／保育「環境」
- ▲ 「ドイツの理科教育—その伝統と革新—」
- ▲ 「小学校理科教育法」
- ▲ 「人と自然をつなぐ研究—ネイチャーゲーム大学講義録」
- ▲ 「自然体験学習論—豊かな自然体験学習と子どもの未来—」
- ドイツ初等・基礎領域における科学教育カリキュラム改革—学びの連続性の観点から—
- 自然体験活動の実践と人々との連携や繋がり
- コロナ禍における自然体験活動の取り組み
- ドイツ初等教育における持続可能な開発のための教育(ESD)の推進—ESDグローバルアクション・プログラムの取り組み—

村井 尚子 教授 [博士(文学)]

- 教育哲学
- 現象学的教育学／教師教育
- ▲ 「ヴァン=マーネンの教育学」
- ▲ 「応答する教育哲学」(第23章「ユトレヒト学派の現象学—現象学的心理学から現象学的教育学へ」)
- ▲ 「ランゲフェルト教育学との対話—「子どもの人間学」への応答」(第2部「親であること」の教育的考察—ヴァン=マーネンの教育学の基底として)
- 教師教育における「省察」の意義の再検討—教師の専門性としての教育的タクトを身につけるために—
- ヴァン=マーネンの教育的タクト—定義と特徴—
- 現象学的教育学から教師教育へ—フィーリングへのリフレクションを通じて—
- 記述を通じた授業実践のリフレクションの可能性の検討

森 久佳 教授 [博士(文学)]

- 教育方法学
- カリキュラム論／教師教育／教育・福祉の連携
- ▲ (共著)『変動する総合・探究学習』
- ▲ (共著)『子どもの未来を拓く教育原理』
- ▲ (共著)『ユネスコ・教育を再考する:グローバル時代の参照軸』
- ▲ (共著)『改訂新版—教職を目指す人のための教育課程論』
- ▲ (共著)『教職概論:理想の教師像を求めて』
- ▲ (共著)『子ども支援とSDGs:現場からの実証分析と提言』
- ▲ (共著)『民主主義と教育の再創造:デューイ研究の未来へ』
- 「共同体中心」学校を目指したデューイ実験学校の学習活動の体制とその特色に関する研究
- シカゴ時代(1894-1904年)におけるデューイの「レシテーション(recitation)」論の特色に関する一考察:デューイによる「学び(learning)のタイプ」のとらえ方に着目して
- 教職の専門職化の観点からとらえたデューイ実験学校の特色
- ◆ 研究開発学校におけるカリキュラム開発の経験:教師の専門職資本形成に注目して

博士前期課程指導補助教員

宮崎 元裕 准教授

- 比較教育学
- 多文化社会における価値教育と異文化理解教育／トルコの教育制度と教育改革
- ▲ 「比較教育学原論」
- ▲ 「日本の教育をどうデザインするか」
- ▲ 「世界の宗教教科書」
- 違いを尊重する教育—エンパシーを高める3ステップの活用—
- トルコにおける多元的宗教教育の状況とその可能性—イギリスとの比較を通して—
- トルコにおける2012年義務教育改革—宗教関連選択科目の新設とイマーム・ハティブ中学校の再開に注目して—

博士前期課程授業担当教員

落合 利佳 教授 [博士(内科学)]

- 小児医学
- 高機能自閉スペクトラム症児の社会性の発達
- ▲ 幼児教育におけるカリキュラム・デザインの理論と方法(共著)
- 広さを考慮した保育環境の構造化と個別配慮の実践—京都市営保育所での取り組み
- 「気になる子」に関する保育者の意識と支援の実態—保育所アンケートからクラス構成に着目して—
- ◆ 言語障害を伴うダウン症者への PECSを用いたコミュニケーション指導に関する研究
- ◆ 幼児の初期の概念形成:なぞなぞ課題の作成から
- ◆ 幼児期から児童期初期の身体模倣の発達と男女差

齊藤 和貴 准教授

- 生活科教育学
- 生活科教育／総合的な学習の時間
- ▲(共著)教育実習論
- ▲(共著)子どもの学びをデザインする 思考をむすぶメディア
- ▲(共著)子供がこえる学び
- 生活科における子どものメタ認知能力育成の方策—マイキャラカードによる振り返りを通して—
- 生活科における「子ども地名」の教材価値に関する考察
- 自己の生き方の形成過程の研究—言語活動に着目した総合的な学習の授業デザインを通して—
- 成長単位における絵本の教材としての可能性—「おおきくなるっていうことは」(中川ひろたか文・村上康成絵)を中心に—
- 子どもの時間意識の分析を通じた気付きの質的高まりの研究(2)—成長単位「未来に向かって自分探検」(2年生)を通して—
- ◆子どもの時間意識の分析を通じた気付きの質的高まりの研究—植物栽培単元「春にさくお花を育てよう」(1年生)を通して—

心理学専攻

博士前期課程指導教員

岩原 昭彦 教授 [博士(心理学)]

- 神経心理学、健康心理学
- 認知の予備力と認知機能の低下防止との関連性の検証／(運動機能と認知機能との関連性の検証)／健康増進行動に対するポジティブ心理学的介入の効果の検証
- ライフスタイルと認知の予備力
- with/afterコロナ時代における認知症予防の在り方(◆住民健診を対象とした短縮版MMSE(SMMSE)の有用性と妥当性)
- ◆中高齢者の素因的楽観性と認知機能との関連性について
- ◆Developmental Changes of prefrontal cortex and cerebello-cerebellar functioning in older adults: evidence from stabilometer and cognitive test

広瀬 雄彦 教授 [博士(教育学)]

- 認知心理学、言語心理学、教育心理学
- 視覚的単語認知の研究／リーディング・スキルの研究
- ▲「日本語表記の心理学」
- 漢字および仮名単語の意味的処理に及ぼす表記頻度の効果
- 視覚的単語認知における頻度効果の再検討
- ◆Reading disabilities in modern Japanese children.
- ◆スキーマの個別性が虚再生に及ぼす影響—目撃証言の観点から—

下津 咲絵 教授 [博士(臨床心理学)]

- 臨床心理学、認知行動療法
- 精神疾患のセルフスティグマ低減に対する認知行動療法の有用性の研究
- 精神疾患のセルフスティグマに関する

実証的研究の動向

- ◆Effectiveness of group cognitive-behavioral therapy in reducing self-stigma in Japanese psychiatric patients
- ◆An investigation of anxiety about radiotherapy: Deploying the Radiotherapy Categorical Anxiety Scale
- ◆地域クリニックにおける集団認知行動療法の実践の試み

伊東 裕司 教授 [博士(心理学)]

- 認知心理学、司法心理学
- 非言語的材料の記憶／人物同定判断／裁判員による判断／目撃記憶の信頼性
- ▲裁判員の判断の心理
- 被害者の意見陳述は裁判員の実事認定に影響を与えるか?
- ◆The revelation effect occurs whether or not working memory is occupied
- ◆The effects of limiting instructions about emotional evidence depend on need for cognition
- ◆Effect of antioxidant supplements, Pyrroloquinoline quinone disodium salt (BioPQQTM) on cognitive functions
- ◆Effects of emotional testimony and gruesome photographs on mock jurors' decisions and negative emotions
- ◆Carryover effects in face recognition: Processing mode or attentional window?

八田 武俊 教授 [博士(文学)]

- 社会心理学／健康心理学
- 交渉／反すう／怒り／高齢者
- ▲(共著)紛争・暴力・公正の心理学:第3章(怒りと健康)
- The Effects of the Anger Rumination Trait on Anger, Perception of Others' Intent, and Motivation for Retaliation
- ◆An experimental study of the effects of excitability and correctability on electronic negotiation
- ◆Effects of visual cue and spatial distance on excitability in electronic negotiation.
- ◆日本語版怒り反すう尺度作成の試み
- ◆中高年の高次脳機能と信頼感、騙されやすさの関連性の検討

中井 靖 教授 [博士(保健学)]

- 発達心理学、臨床心理学
- 自閉症児のプロソディ
- ▲(共著)「実践に生かす障害児保育・特別支援教育」
- ◆Detecting abnormal word utterances in children with autism spectrum disorders: machine-learning-based voice analysis versus speech therapists
- ◆Investigation of classification using pitch features for children with autism spectrum disorders and typically developing children
- ◆Speech intonation in children with autism spectrum disorder
- ◆自閉スペクトラム症児の発達的变化に応じた保護者支援—学校段階別の気になる行動の観点から—

博士前期課程授業担当教員

稲塚 葉子 准教授

- 臨床心理学
- 青年期の同一性形成と諸要因および適応／子育て支援
- 青年期における「私」の生成について
- ◆参与観察実習としての「子育て教室」
- ◆「子育て教室」参加者のアタッチメントの安定性と心理的支援
- ◆親子のアタッチメント安定性と育児ストレスの関連

松浦 ひろみ 准教授

- 発達臨床心理学
- 子どもの物語表現と内的世界に関する研究／児童期から思春期にかけての愛着表象に関する研究／小児科領域における心理臨床に関する研究
- ◆小児がん患児家族の外傷後ストレス症状と心理的支援
- ◆幼児期後期における愛着表象の投影的測定法—親子関係質問紙及び教師による対人行動評定との関連—
- ◆「子育て教室」参加者のアタッチメント安定性と心理的支援

表現文化専攻

修士課程指導教員

大谷 正和 教授

- ピアノ、現代音楽
- 20世紀ピアノ音楽の研究／J.S.バッハの鍵盤作品の研究
- ▲「表現の文化と教育」
- 3度転調の手法とその演奏表現効果についての考察—ベートーヴェンとロマン派の作曲家のピアノ作品を中心に—
- メシアンと鳥—「鳥のカタログ」の分析を通して—
- ◆変拍子の楽曲に対するピアノ指導についての一考察—バルトーク《ブルガリアン・リズムによる6つの舞曲》を中心として—
- ◆小学校および中学校音楽科授業における歌唱共通教材のピアノ伴奏に関する試論
- ◆小・中学校の教科目標の連続性を見据えた鑑賞教材の検討—感性を育む音楽科授業の教育内容および教育方法を考える—

大橋 奈希左 教授 [博士(教育学)]

- 身体教育・ダンス教育
- 表現運動・ダンス領域の指導／教員養成におけるからだの育成
- ◆橋本有子・大橋奈希左(2021)幼稚園・小学校の指導者養成における動きの観察力の育成—学習者の「知」と観察内容 お茶の水女子大学人文科学研究 第17巻 pp.13-23.
- 「アート」の視座からダンス教育を問直す(2019) 体育科教育第67巻第11号 pp.56-59 依頼原稿
- ▲(共著)「『思考力』を育てる」(2017)

- ▲(共著)『「実践力」を育てる』(2017)
- 学校における創作ダンス教育の原理的考察(2016)
日本大学文学研究科博士論文
- ダンス教育における「模倣」の意義(2015)
体育哲学研究第45号 pp.15-23.
- ダンス教育における「即興」の発現域に関する考察
—作品の創作過程に着目して—(2013) 舞踊教育学研究15号 pp.3-12.
- ◆大橋奈希左・大貫秀明ほか(2016)ダンスを問うてみる—体育学からみた可能性—
シンポジウムB報告 体育哲学研究第46号pp.35-51.
- ◆大橋奈希左・坂井星太(2015)ダンス教育における「リズムにのる」ことについての考察
—音楽と身体の動きのかかわりを視点として—
上越教育大学研究紀要 pp.235-244.

ガハフカ 奈美 教授

- 声楽、声楽教育、表現教育
- 呼吸法と表現教育の関わり／
教育と音楽の関わりあい
- ▲「感性をひらいて保育力アップ
「表現」エクササイズ&なるほど基礎知識」
- ▲「幼・保・小で役立つ絵本から広がる表現教育の
アイデア-子供の感性を豊かに育てるために」
- 歌唱における発声指導について
—合唱指導のあり方—
- 音楽教育における感覚的認識の一考察
- 表現教育におけるコミュニケーション支援と
呼吸法のプログラム構築
—「自己表現力を高める教育法の検討」の
実践から—
- 仏教讃歌の合唱指導について
～視覚・聴覚を通して～
- 宗教歌に見られる言語表現について
～『歎異抄』と『聖書』の言葉に着目して～
- ◆ 感性を育む表現教育のプログラム開発
—「楽曲を描く」課題を中心に—
- ◆ 合唱指導における協働的な学びの可能性
～学内発表会の実践から～

関口 博子 教授 [博士(芸術文化学)]

- 音楽教育学・音楽教育史
- 近代スイス・ドイツのペスタロッチ主義による
学校音楽教育の改革と合唱運動
- ▲「近代スイス・ドイツの音楽基礎教育と歌唱活動」
- ▲「近代ドイツ語圏の学校音楽教育と合唱運動
—19世紀前半のスイスにおけるH.G.ネーゲリの
思想とその活動を中心として—」
- J.R.ヴェーバーの唱歌教育論における
初等・中等教育の継続性
—「理論的・実践的唱歌論」の分析を通して—
- J.R.ヴェーバーの唱歌教育方法論へのドイツからの
影響—B.C.L.ナルブの方法論との比較検討
を中心として—
- J.R.ヴェーバーの唱歌教育改革論とその方法
—ペスタロッチ主義との関連性を視点として—
- リトミックの理念—リズムの根本思想—
- J.A.P.シュルツ『民謡調の歌曲集』の特徴
—18世紀後半のドイツにおける民衆啓蒙と
音楽教育との関わりを視点として—
- H.G.ネーゲリの教育改革構想
—ペスタロッチ主義という視点から—
- 19世紀前期ドイツ語圏スイスにおける学校音楽
教育の改革と合唱運動
—H.G.ネーゲリの思想とその活動の歴史的意義—

土居 知子 教授

- ピアノ、ピアノ教育
- ドイツ語圏作曲家、ロマン派時代の作曲家の
楽曲研究および演奏研究、ピアノ指導法研究
- ▲「中学校・高等学校教員養成課程における
音楽科教育の理論と実践」
- ▲「未来をひらく音楽家教育
—中学校・高等学校教員養成課程における
課題と展望—」
- ▲初等・中等教員養成課程における音楽科教育の
内容と方法～理論と実践からの学びをつなぐ～
- 「変奏曲」形式の楽曲を用いた効果的な
ピアノ指導法(I)
—演奏技術・表現力・様式感の同時獲得を
目指して—
- 「変奏曲」形式の楽曲を用いた効果的なピアノ指
導法(II)—「練習曲」との相互性の観点から—
- R.シューマン《ユーゲントアルバム》Op.68をめぐる
一考察(I)
—包括的な学びへと導くピアノ指導法を探る—
- ◆ 変拍子の楽曲に対する
ピアノ指導についての一考察
—バルトーク《ブルガリアン・リズムによる
6つの舞曲》を中心として—
- ◆ 小学校および中学校音楽科授業における
歌唱共通教材のピアノ伴奏に関する試論

難波 正明 教授

- 音楽科教育
- 音楽科の教育内容に関する研究／
初心者向けピアノ教材の分析
- ▲「表現の文化と教育」
- リズムと拍子に関する基礎的考察
—L.クラークの「リズムの本質」を中心に—
- アメリカの音楽教科書"Share the Music"における
音楽構成要素の学習について
- ◆ 幼小をつなぐ音楽活動の可能性(2)
—わらべうた《らかんさん》の実践から—
- ◆ 変拍子の楽曲に対するピアノ指導についての一考察
—バルトーク《ブルガリアン・リズムによる6つの舞
曲》を中心として—

水戸部 修治 教授

- 国語科教育学
- 国語科授業改善／読解力育成／
国語科単元構想モデル開発
- ▲ 小学校国語科ICT&1人1台端末を活用した
言語活動パーフェクトガイド
- ▲「小学校新学習指導要領国語の授業づくり」
- ▲「小学校国語科授業&評価パーフェクトガイド」
- 個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す
小学校国語科におけるICTを活用した
授業改善方策の検討
- 沖縄県における小学校国語科の
実践状況と授業改善の推進要因の解明
—4年間の研究の整理—
- 幼・小の接続を重視した言葉の育ちを支える援助と
指導の在り方に関する考察—読むことを中心に—
- ベルリン市における基礎学校段階の
ドイツ語教育施策とその実践の推進
- 読書人を育成する授業のあり方
—児童の読書に関する能力の実態を踏まえた
授業づくり—

修士課程指導補助教員

辻 誠 教授 [博士(学校教育学)]

- 美術教育
- 感覚による対象認知と描画表現の関係についての
研究／領域横断的な表現活動の研究
- ▲(共著)『図工科ニューヒット教材集①絵画・版画編
②平面造形編④造形遊び・総合造形編⑤造形遊
び・総合造形・鑑賞編』
- ▲(共著)『幼児の造形ニューヒット教材集①絵画・
造形遊び編②手づくりおもちゃ・立体造形編』
- 「子どもの視覚と触覚の感覚統合を促す
絵画表現教育の今日的意義」
- 「能動的触覚を通した描画表現」
- 「描画活動における視覚と触覚の統合に関する
実践研究」
- ◆「領域「表現」と小学校音楽科をつなぐ
和楽器を用いた活動の試み」
- ◆「総合表現プログラムの実践活動について」

佐藤 岳晶 准教授 [博士(学術)]

- 作曲、音楽理論(和声法、対位法)、近世邦楽
- 洋楽、邦楽の作品創作／近世邦楽(箏、三味線)
の歌唱・演奏法と創作理論
- 自然・コスモロジーと対話する音楽創作を探る
—草木染め、日本庭園に学びつつ
- ローカルとグローバルを架橋する「ポリフォニー」
- 近代を超える「花」を求めて
—石牟礼文学と伝統芸能の「再創造」
- 松阪春榮の二面箏による音楽言語と創造
その1—ヘテロフォニーのリズム的「錯乱」

田崎 直美 教授 [博士(人文科学)]

- 音楽学(西洋音楽史)
- 近代フランスにおける音楽社会／音楽政策／
国際文化交流
- ▲「抵抗と適応のポリナリテ
—ナチス占領下のフランス音楽」
- ▲「はじめて学ぶフランスの歴史と文化」
- ▲「上海フランス租界への招待:日仏中三か国の文
化交流」
- フランスにおける第二次世界大戦の記憶と音楽:
強制収容所解放10周年記念式典(1955)とミヨー
作曲カンタータ《火の城》の場合
- French Musicology in Japan in the Mid-
Twentieth Century: The Legacy of Norbert
Dufourcq and Jacques Chailley
- 戦後日本における招聘フランス人音楽家の活動
(1950-53年): 日仏文化交流および日本の音楽
界に与えた影響について
- Un concours de composition outil de
propagande politique : le cas du Concours
musical de la ville de Paris sous la
Troisième République

児童学専攻

修士課程指導教員

神原 雅之 教授

- 音楽教育学
- 幼児の音楽表現の発達／幼児のリトミック教育／即興表現の教授学的検討
- ▲ 「1～5歳児がよるこぶ 保育ではじめてのリトミック」
- ▲ 「幼児音楽教育要論」
- ▲ 「1～5歳のかんたんリトミック」
- ▲ 「幼児のための音楽教育」
- ▲ 「リズム&ゲームにどっぷり!リトミック77選」
- リトミック教育に含まれるもう一つの可能性
- リトミックとは?
- 幼児の音楽体験やピアノ演奏に果たす役割—
- 幼児と音楽
- リトミックに関する研究動向を中心に—
- ◆ J.L.ルソーの音楽教育観に関する一研究
- 「言語起源論」の解題を中心に—

古池 若葉 教授

- 認知発達心理学、臨床心理学
- 描画における感情表現の発達過程／描画と書字に関する表記知識の発生と発達過程／発達の偏りのある子どもにおける言語的コミュニケーションのアセスメントと支援
- ▲ (共著) 教育・学校心理学
- 日本語話者の子どもにおける語用能力の評価法
- 数表記・数詞・具体物の三項関係に関する論考
- 幼児における数字の読みと書きの発達

間瀬 知紀 教授 [博士(学術)]

- 応用健康科学
- 発育発達／体格／体組成／身体活動／食行動
- ▲ 「健康生活のための運動・スポーツ」
- ◆ Association between the recognition of muscle mass and exercise habits or eating behaviors in female college students.
- ◆ Psychometric properties of the Japanese version of the Dutch Eating Behavior Questionnaire for Children.
- ◆ The purpose and the motivation for future practice of physical activity and related factors in Japanese university students
- ◆ Influences of peers' and family members' body shapes on perception of body image and desire for thinness in Japanese female students.
- ◆ Relationship of a desire of thinness and eating behavior among Japanese underweight female students.

松崎 行代 教授 [博士(現代社会)]

- 児童文化学、社会学
- 保育における人形劇の活用／文化活動によるまちづくり／児童文化活動による女性の地域社会への参画
- ▲ 「子どもの生活と児童文化」
- ▲ 「地域社会からみた人形劇フェスタ—飯田市民2500人が参加する背景を探る—」
- ▲ こどものみらい叢書4「遊びからはじまる」
- 昔話の児童文化財化に関する考察

- 「おおきなこぶ」を中心に—
- 伝統芸能と子ども(第1報)
- 新野の雪祭りの記録—
- ◆ 保育要領への「人形芝居」導入の背景と幼稚園の実態
- ◆ 幼児教育における劇的表現活動
- 人形を用いた「劇遊び」—

矢野 真 教授

- 造形教育、立体造形
- 立体造形制作／教材開発を通じた表現／木育による造形表現
- ▲ 「保育に役立つ0・1・2歳の手作りおもちゃ」
- ▲ 「DVDでわかる!乳幼児の造形」
- 教材開発を通じた子どもの創造性を育てる表現教育のあり方に関する研究
- ◆ 地域連携を通じた木育教材の開発
- ◆ 保育ワークショップに参加した学生の学びから—
- ◆ 保育者養成における世代間のコミュニケーション支援に着目した造形活動
- 木育活動における事例的検討—

修士課程指導補助教員

瀬々倉 玉奈 准教授 [博士(学術)]

- 子ども家庭支援、臨床心理学、子ども学
- 多職種の協働による子ども子育て支援、虐待の予防的支援、保育におけるICTの活用、保育者養成
- ▲ ICTでつながる乳幼児期の子供・子育て支援(京都女子大学親子支援ひろば「びっばらん」(「子供・若者白書」内閣府))
- ▲ 京都女子大学親子支援ひろば びっばらん Memorial Book・Photo Book
- ▲ 乳幼児の発達臨床心理学:理論と現場をつなぐ
- 母子保健における臨床心理学的アプローチの応用
- 子育て教室における養育者間スキルと託児
- 保育者養成におけるコミュニケーション・ワークの導入

浦田 雅夫 教授

- 子ども家庭福祉、社会的養護、スクールソーシャルワーク
- 虐待を受けた子ども・若者のケアとソーシャルワーク
- ▲ 「新・子ども家庭福祉—私たちは子どもに何ができるか—」
- ▲ 「よりよい支える 社会的養護 I」
- ▲ 「成長し続ける教育・保育実習」
- 「社会的養護とヤングケアラー」
- 「社会的養護を経験した若者の自立支援」
- 「教育の保障と自立支援」

修士課程授業担当教員

黒田 義道 教授 [博士(文学)]

- 真宗学
- 中世真宗教学史／真宗教団史
- 本願寺留守職としての覚如
- 親鸞の浄土三部経千部説論について—信心に問われる社会的実践—
- 初期真宗門徒の教導者観
- 真宗美術を手がかりに
- 蓮如の善知識観

上月 智晴 准教授

- 幼児教育、保育学
- 保育者の専門性／乳幼児の遊びと指導のあり方／保育者養成
- ▲ 「幼児教育方法論」
- ▲ 「ともに生きる保育原理(新時代の保育双書)」
- ▲ 「(オトコの育児)の社会学 家族をめぐる喜びと戸惑い」
- ▲ 「幼稚園・保育所 実例でわかる実習の目誌&指導案作成マニュアル」
- ▲ 「保育実践に学ぶ保育計画のつくり方・いかし方」
- ▲ 「保育における感情労働—保育者の専門性を考える視点として—」
- ▲ 「保育実践のまなざし」
- 保育内容総論における模擬保育と学生の学び
- 幼児の身体づくりを考える—いま求められる「身体づくり—運動」の実践とは—
- 幼稚園教育実習における学生の学びと課題
- 今日における幼稚園・保育所の生活の質に関する考察—実習生の保育印象の分析を通して—

黒原 貴仁 講師

- 体育科教育学／児童体育
- 児童期における運動あそび／小学校体育授業／ゲーム構造論／カリキュラムマネジメント
- 複式学級におけるゴール型ゲームの授業づくり
- ◆ 領域「健康」に着目した幼児教育のカリキュラム・マネジメントに関する一考察

教育学専攻(博士後期課程)

博士後期課程指導教員

伊東 裕司 教授 [博士(心理学)]

岩槻 知也 教授 [博士(人間科学)]

岩原 昭彦 教授 [博士(心理学)]

表 真美 教授 [博士(学術)]

滝川 国芳 教授 [博士(医療福祉学)]

八田 武俊 教授 [博士(文学)]

広瀬 雄彦 教授 [博士(教育学)]

松岡 靖 教授 [博士(教育学)]

宮野 純次 教授 [博士(教育学)]

村井 尚子 教授 [博士(文学)]

※専門分野などについては前記参照

家政学研究科

Graduate School of Home Economics

博士前期課程

食物栄養学専攻

近年、食品技術は著しい進歩を遂げ、さまざまな機能性食品が開発され、商品化も進んでいます。その一方で、食の安全にかかわる事件や事故はあとを絶ちません。また、心疾患や糖尿病などの生活習慣病や食物アレルギー疾患の増加など、食を取り巻くさまざまな問題の解決を迫られています。複雑化する21世紀の社会のなかで、われわれの食生活と食環境はさらに変容し、身体にとって「良い」か「悪い」かの区別が益々困難になってくるでしょう。誤った情報に流されず、正確な科学的知識に基づき、「食」問題の質的な理解を深め、総合的に分析する能力、個々のQOL (Quality Of Life) 向上のための食の専門家としての指導力が求められています。

本専攻は食品学・栄養学・食品衛生学・調理学の4研究分野に分かれています。各分野では、個々の基礎学力を高めると同時に、専門分野の研究動向や実験・調査の原理を学び、最新の実験手法や技術を用いた教育、研究を実践します。また、生活習慣病などの予防や改善に関しても、臨床現場での実践的な栄養マネジメント研究を展開します。

生活造形学専攻

生活造形学専攻には「造形意匠(デザイン)学」、「アパレル造形学」と「空間造形学」の3研究領域があります。本専攻では、各領域の学問を深く追求するとともに、領域を超えた幅広い学びからの学問の追求も可能となっています。

造形意匠(デザイン)学領域

人間は生活を豊かにするためにさまざまなモノを造形してきました。これらの造形について文化史という歴史的な観点や、美学という哲学的な観点、また実際のデザインという構造的な観点から生活に関わる造形を分析し、考察することを目的としています。

アパレル造形学領域

人間にとって最も身近な環境である衣環境としてのアパレルを教育・研究の対象とし、健康で快適な衣生活を創造します。そして、アパレルに関する材料から製品までの系統的な知識を得ることによって、より先端的、学際的、総合的な視点を醸成させることを目的としています。※衣料管理士(専修)も取得することができます。

空間造形学領域

建築計画や地域計画といった建築の機能に関する分野と、建築設計や建築史といった歴史意匠に関する分野を重視して、建築教育を行います。学部における建築教育を基盤としつつ、建築計画学、室内計画学、建築史学の各分野で、より専門性の高いテーマを設定して、教育・研究を進展していきます。

生活福祉学専攻

人口減少と少子高齢化が劇的に進展する日本において、単身世帯数が核家族数を上回り、障害をもった人や高齢者だけの世帯が増えるなか、「認知症・後期高齢要介護者の増加」、「社会保障の揺らぎ」、「障害や高齢にまつわる犯罪」等さまざまな社会問題が生じ、生活障害も拡大しています。他方で、福祉関連サービスの果たす役割は飛躍的に増え続け、居宅サービスの充実が重要な課題となっています。また、国際化の動きの中で国を越えた福祉・介護職の人的交流の動きが加速してきています。

これら複雑化する社会構造の変化や生活の変容に対して、生活の手段や技術を福祉の場面で実践していくことの重要性が認識され、生活環境・基盤整備を可能にする生活支援への要請は高まるばかりです。

生活福祉学専攻は、こうした社会的ニーズに応えるために、家政、介護、医学そして社会福祉を統合した「生活の基盤整備」に関する新しい学問の構築をめざしています。

さらに、福祉サービスを利用する側の人権と提供する側の人権の両者を考慮した質の高い支援の実現を念頭に、時代を受け止める福祉セーフティネットの構築をその教育理念に据えています。

博士後期課程

生活環境学専攻

食物栄養学と生活造形学の2研究領域に分かれています。2つの研究領域は生活環境という共通のテーマで教育・研究の連携を図り、家政学の総合化をめざしています。入学後はそれぞれの領域で専門性の高い研究を深めますが、専攻の目的に合うように、共通科目として特に「生活環境学特殊研究1・2・3」を設けており、生活環境を新たな視点から総合化できるように配慮されています。

食物栄養学領域

食物栄養学領域では、生活環境中の化学物質の測定や安全性の評価、生活習慣病の予防と改善のためのアプローチ、栄養成分(タンパク質や脂肪など)の機能・構造の関連などについて、食物・栄養学の分野から研究を進めます。

生活造形学領域

生活造形学領域では、造形意匠、アパレル、空間の3分野の環境を中心に、それらの物理的・化学的・人間工学的・心理学的・計画的な側面に加えて、芸術・文化や歴史的な側面からも研究を行います。

研究・指導体制

食物栄養学専攻

指導教員が、論文のテーマ決定、研究計画の作成、

生活造形学専攻

研究の遂行など、論文の完成に向けて綿密な指導を行います。

生活福祉学専攻

また専攻内、研究科全体での指導体制も整えています。



学位

修士

博士

食物栄養学専攻 修士の学位…修士（食物学）

生活環境学専攻 博士の学位…博士（家政学）
博士（学術）生活造形学専攻 修士の学位…修士（家政学）
修士（学術）

生活福祉学専攻 修士の学位…修士（生活福祉学）

資格取得

教員免許

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
家政学研究科	食物栄養学専攻	高等学校教諭専修免許状	家庭
		中学校教諭専修免許状	家庭
	生活造形学専攻	高等学校教諭専修免許状	家庭
		中学校教諭専修免許状	家庭

※専修免許状の取得にあたっては、当該教科の「一種免許状」を有する必要があります。

過去の 修士論文題目(例)

専攻	修士論文題目
食物栄養学	大学生男子陸上長距離選手における栄養アセスメント
食物栄養学	疑似的寄生虫感染状態がマウスの行動に及ぼす影響
食物栄養学	喫煙状況の客観的評価における食品摂取の影響
食物栄養学	セルロースナノファイバーの再分散性
食物栄養学	糖質制限食が血糖値に与える影響に関する研究
食物栄養学	食事誘発性体熱産生に及ぼす要因の検討
食物栄養学	n-3系脂肪酸由来代謝物がコレステロール搬出反応に及ぼす影響に関する研究
食物栄養学	若年女性及び健診受診者における味覚感度低下因子の検討
食物栄養学	食品成分によるABCタンパク質の活性化効果
食物栄養学	外来2型糖尿病患者に対する食べる順番を主とした栄養指導が動脈硬化の進展に及ぼす影響に関する研究
食物栄養学	骨格筋量及び筋力と動脈硬化リスク因子との関連についての臨床研究
生活造形学	西陣絣の研究—記録と普及手法に関する考察—
生活造形学	温かいデザインの構成要素とその応用
生活造形学	二種類のアイデア発想段階における脳前頭前野の賦活状態と心理的ストレスに関する基礎的考察
生活造形学	舞鶴市の漁村・吉原地区に関する研究 —地区形成の歴史および家屋形式と街路景観の特色—
生活造形学	ブロックパズルを用いた視覚情報の相違によるメンタルモデル構築過程の検討
生活造形学	洋裁から既製服への移行 —「装苑」1973年～1982年の分析—
生活造形学	ウール混5本指靴下の機能性に関する研究
生活造形学	近現代中国漆芸教育における日本の役割
生活造形学	現代建築における工業系木材を用いた意匠表現に関する研究
生活造形学	藤井厚二設計の永井専三邸に関する研究
生活福祉学	コロナ禍における高校生の心身の変化について
生活福祉学	養護教諭とスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの効果的な連携の在り方について
生活福祉学	介護福祉士の介護支援専門員資格取得動機に関する研究 —介護職継続のための資格取得についての考察—

過去の 博士論文題目(例)

学位の種類	論文題目
【課程博士】	
博士(学術)	水溶性ビタミン不足の臨床栄養学的意義に関する研究
博士(学術)	高齢者の歩行動態の解析に基づくつまずき予防靴下の開発に関する基礎的研究
博士(学術)	中国都市部児童の身体状況、食生活実態及び保護者の食意識等と飲食・栄養教育に関する研究
博士(学術)	Characteristics of partially hydrolyzed egg white and its application on pork meat
博士(学術)	卵殻膜・リン脂質ポリマー同時加工布の機能性評価に関する研究
博士(学術)	三次元計測による複製制作の効率化に関する基礎的研究 —いせこみによって形成されたシルエットの把握を中心に—
博士(学術)	外分泌液中の食品タンパク質・IgA免疫複合体
博士(学術)	食後高血糖および血糖変動とその評価方法についての臨床的研究
博士(学術)	特異的Ig Y 抗体の調製における免疫源およびアジュバントの検討
博士(学術)	摂食障害及び歩行動態異常に対する臨床栄養学的研究
博士(学術)	白瀧幾之助の生涯と芸術 —近代日本洋画における技法と画題の展開—
【論文博士】	
博士(学術)	栄養アセスメントおよび栄養指導に有用な装置の開発と臨床応用についての研究
博士(学術)	2型糖尿病および循環器疾患の重症化予防に有効な栄養指導法(E-ガイド)の開発とその有効性に関する研究
博士(学術)	Multicomponent analysis by surface plasmon resonance-based immunosensor for control of food hygiene
博士(学術)	Development of the Assay Methods for Pesticides by Immunological Technique (免疫学的手法による農薬定量法の開発)

家政学研究科 教員組織

食物栄養学専攻

博士前期課程指導教員

今井 佐恵子 教授 [博士(農学)]

■臨床栄養学、栄養指導

●糖尿病の食事療法に関する研究/
妊娠糖尿病の食事療法に関する研究

- ▲「元祖「食べ順」野菜から食べるおいしいレシピ集」
- ▲「たった5分!食べ方を少し変えるだけで、病気にならない!好きなものを食べ続ける!をかなえる本」
- ◆食事の質と量だけでなく食べ方と食べる時刻も血糖指標に影響を与える
京都女子大学食物学会誌 74:1-9, 2019
- ◆Eating Fast Has a Significant Impact on Glycemic Excursion in Healthy Women: Randomized Controlled Cross-Over Trial. *Nutrients* 12, 2767, 2020
- ◆Tomato juice preload has a significant impact on postprandial glucose concentration in healthy women: A randomized crossover trial. *Asia Pac J Clin Nutr.* 29:68-76, 2020
- ◆Consuming snacks at mid-afternoon improves the mean amplitude of glycaemic excursions compared with consuming snacks just after lunch in people with type 2 diabetes: A randomized cross-over clinical trial. *Diabetes & Metabolism* 44:482-487, 2018
- ◆Divided Consumption of Late-Night-Dinner Improves Glycemic Excursions in Patients with Type 2 Diabetes: A Randomized Crossover Clinical Trial. *Diabetes Research and Clinical Practice* 129:206-212, 2017
- ◆Eating Vegetables Before Carbohydrates Improves Postprandial Glucose Excursions *Diabetic Medicine* 30:370-372, 2013

川添 禎浩 教授 [薬学博士]

■食品安全性学、環境毒性学

●食にかかわる化学物質(健康食品、有害物質など)の安全性

- ▲「栄養学・薬理学入門 第2版」(編者)
- ▲「新版 食品衛生学」(編者)
- ▲「食品安全・衛生学実験」(編者)
- ▲「健康と環境の科学」(編者)
- ▲「社会・環境と健康:公衆衛生学」(編者)
- ◆ダイエターサプリメントに使用される大豆抽出物とエチルエストロジェンの複合エストロゲン活性
- ◆生薬ニンジン健康食品中のジエンサイド含有量
- ◆健康食品ワイルドヤム中のジオスゲニンおよびジオスシン含有量
- ◆清涼飲料水中のカフェイン含有量について
- ◆Study of dietary phytoestrogens and estrogenic activity in pet animal diets
- ◆Effects of chronic exposure of *Caenorhabditis elegans* to neonicotinoids (imidacloprid, dinotefuran) over multiple generations
- ◆Multigenerational effects of neonicotinoids (acetamiprid, clothianidin) on growth, fertility and motility of nematode *C. elegans*

辻 雅弘 教授 [博士(医学)]

■小児神経学

●低出生体重児が発達障害を起こす機序の解明と新規治療法開発 他

- ◆Prenatal systemic hypoxia-ischemia: a rat model of neurodevelopmental disorders related to prematurity. In: *Handbook of animal models in neurological disorders*. Elsevier (2022)
- ◆Umbilical cord-derived mesenchymal stromal cell therapy to prevent the development of neurodevelopmental disorders related to low birth weight. *Sci Rep* (2023)
- ◆*Bifidobacterium breve* during infancy attenuates mobility in low birthweight rats. *Pediatr Int* (2022)
- ◆Intravenously delivered Multilineage-differentiating stress enduring cells dampen excessive glutamate metabolism and microglial activation in experimental perinatal hypoxic ischemic encephalopathy. *J Cereb Blood Flow Metab* (2021)
- ◆Diverse actions of cord blood cell therapy for hypoxic-ischemic encephalopathy. *Pediatr Int* (2021)
- ◆Brain damage caused by neonatal hypoxia-ischemia and the effects of hypothermia in severe combined immunodeficient (SCID) mice. *Exp Neurol* (2021)
- ◆Metabolomic analysis and mass spectrometry imaging after neonatal stroke and cell therapies in mouse brains. *Sci Rep* (2020)

宮脇 尚志 教授 [博士(医学)]

■予防医学、健康科学

●糖尿病/予防医療/生活習慣病/
人間ドック健診/禁煙/摂食障害

- ▲(共著)「肥満・肥満症の生活習慣改善指導ハンドブック2022」
- ▲(共著)「新 食品・栄養シリーズ 社会・環境と健康」
- ▲(共著)「Visual栄養学テキスト 人体の構造と機能および疾病の成り立ちIII」
- ▲(共著)「糖尿病に強くなる!療養指導のエキスパートを目指して」
- ◆Continuous glucose monitoring for detection of glycemic variability, hypoglycemia, and hyperglycemia in women with eating disorders. 2022
- ◆Influence of Milk on Exhaled Carbon Monoxide (CO) Measurement by Portable CO Monitors. 2022
- ◆Relationship between the number of atherosclerosis risk factors and body composition classification including skeletal muscle mass. 2022
- ◆Impact of eggplant consumption on urine cotinine examination results. 2022
- ◆Potential usefulness of 75-g oral glucose tolerance test using the flash glucose monitoring system in a comprehensive medical examination. 2021
- ◆An accurate estimation of appendicular skeletal muscle mass by simple bioelectrical impedance method between the upper and lower limbs in middle-aged Japanese. 2019
- ◆Relationships of skeletal muscle mass and visceral fat with atherosclerosis risk factors in middle-aged Japanese people: An assessment using accurate and simple bioelectrical impedance methods. 2018

授業担当教員は指導教員として選べません。

門間 敬子 教授 [博士(農学)]

■食品化学・生活科学

●果物由来アレルゲンに関する研究/
モノクローナル抗体の作製と応用

- ◆Determination of severe peach allergens, giberbellin-regulated protein, and lipid transfer protein, using monoclonal antibodies
- ◆A case of food-dependent exercise-induced anaphylaxis due to grape giberbellin-regulated protein
- ◆Preparation of Monoclonal Antibodies Specifically Reacting with the Trichothecene Mycotoxins Nivalenol and 15-Acetylvalenol via the Introduction of a Linker Molecule into Its C-15 Position
- ◆Food-dependent exercise-induced anaphylaxis due to pickled Japanese apricot
- ◆Direct evidence for Sphingomonas sp. A1 periplasmic proteins as macromolecule-binding proteins associated with the ABC transporter: molecular insights into alginate transport in the periplasm
- ◆Kinetic study on the dissociation of a dimeric protein, Streptomyces Subtilisin Inhibitor

横山 佳子 教授 [博士(医学)]

■公衆栄養学、微生物学

●食品の保存条件と細菌の形態変化について/
食品中の薬剤耐性菌の分布と動向について/
種々の生活習慣と食生活との関連性について

- ◆殺菌処理した野菜由来細菌の薬剤感受性の検討
- ◆ストレス環境下における細菌の増殖と形態変化
- ◆Genetic environments of the *rmtA* gene in *Pseudomonas aeruginosa* clinical isolates

米浪 直子 教授 [博士(学術)]

■応用栄養学

●若年女性の食事誘発性体熱産生に関する研究/
高齢者の栄養管理に関する研究/
スポーツ活動時の水分・栄養補給に関する研究

- ◆偏食の観点からみた幼稚園児の食習慣に関する解析
- ◆朝食をモデルとした食事摂取が若年女性の体温調節反応に及ぼす影響
- ◆青年期女性における体格と食意識の関連性
- ◆ラグビーフットボール選手におけるデュアルインピーダンス法による内臓脂肪の評価

松尾 道憲 教授 [博士(農学)]

- 生化学、分子生物学
- 動脈硬化抑制を目的とした脂質輸送タンパク質とリポタンパク質の研究 / 腸内細菌由来成分による炎症抑制と神経突起伸長に関する研究 / ビタミンを輸送するタンパク質の研究
- ▲ 「栄養と代謝物のトランスポーター —脂質—」
- ABC proteins involved in glucose and lipid homeostasis
- ◆ Possible application of apolipoprotein E-containing lipoproteins and polyunsaturated fatty acids in neural regeneration
- ◆ Involvement of low density lipoprotein receptor-related protein and ABCG1 in stimulation of axonal extension by apo E-containing lipoproteins
- ◆ ABCA1, ABCG1, and ABCG4 are distributed to distinct membrane meso-domains and disturb detergent-resistant domains on the plasma membrane
- ◆ Neurite outgrowth stimulation by n-3 and n-6 polyunsaturated fatty acids of phospholipids in apolipoprotein E-containing lipoproteins secreted from glial cells
- ◆ ABCG1 and ABCG4 suppress γ -secretase activity and amyloid β production
- ◆ ABCG5 and ABCG8 are involved in vitamin K transport

坂手 誠治 教授 [博士(学術)]

- 運動生理学・スポーツ健康科学・スポーツ栄養学
- 運動生理学およびスポーツ栄養学の視点より、子どもから高齢者を対象とし、健康増進のための運動処方およびその習慣化のための研究を行っている。
- ▲ (共著) 今日からはじめるメタボ&ロコモ予防ノート
- ▲ (共著) 健康管理概論 社会・環境と健康
- ▲ (共著) 衛生学・健康な環境づくりを支援する
- ◆ 水中運動トレーニングによるロコモティブシンドローム予防
- ◆ 労働者の身体活動量評価のための質問紙の妥当性
- ◆ 高齢者における水中歩行前の水分補給の有無が発汗および生体に及ぼす影響
- ◆ 男性労働者における通勤歩行時間および運動習慣が動脈硬化性疾患危険因子に及ぼす影響

松本 晋也 准教授 [博士(農学)]

- 分子遺伝学、分子栄養学
- 線虫を用いた脂質取り込みメカニズムの解析 / 飢餓の栄養学理解
- 第5回高付加価値食品開発のためのフォーラムに参加して
- ◆ Chemical Composition and Functional Properties of Sub-fractions of Soluble Soybean Polysaccharides
- ◆ Adsorption and Structural Change of β -lactoglobulin at Diacylglycerol-Water Interface

廣瀬 潤子 教授 [博士(農学)]

- 栄養教育論 母子栄養
- 授乳期女性の食生活と母乳中成分の関連 食行動に影響を与える要因の解析
- ▲ (共著) 新 食品・栄養科学シリーズ 栄養教育論 「栄養教育の対象と機会」 「乳幼児期の臨床栄養教育」
- ▲ (共著) 乳房の科学 「母子栄養学から見た母乳哺育」
- ◆ 母親の食生活と母乳のにおい
- ◆ アイマークレコーダーによる母乳栄養指導時の観察ポイントの検討
- ◆ 母子の夜間睡眠状況と授乳の関連

井戸 由美子 教授 [博士(食品栄養学)]

- 給食経営管理、臨床栄養学、栄養指導
- 腸内フローラ(腸脳相関)に関する研究 チームで取り組む栄養指導 フレイルに関する研究
- ▲ 演習で学べる在宅栄養支援 —地域共生社会における管理栄養士の役割— (共著)
- ▲ 精神と栄養 ~メンタルヘルスの新たな視点~ (共著)
- ◆ Effects of 4G-beta-D-Galactosylsucrose in patients with depression : a randomized, double-blinded, placebo-controlled, parallel-group comparative study
Journal of Psychiatric Research.148.110-120.2022
- ◆ 摂食嚥下障害の地域連携のための情報共有ツール「嚥下手帳」の有用性
日本在宅栄養管理学会誌Vol6 No3
- ◆ The Effect of Prebiotic Lactosucrose on Serum IgE
International Medical Journal.25.389-390.2018
- ◆ 4G- β -D-galactosylsucrose as a prebiotics may improve underweight in inpatients with schizophrenia.
Biosci Microbiota Food Health.37.45-47.2018
- ◆ 腸内細菌叢の変化が統合失調症患者の精神機能に与える影響
最新精神医学,第22巻5号,449-452.2017

博士前期課程授業担当教員**桂 博美** 准教授 [博士(農学)]

- 栄養学、給食経営管理論
- 食品含有ビタミンB12の吸収に及ぼす調理の影響 / 生体内の補酵素型ビタミンB12の変動 / 給食経営管理に関する研究
- ◆ ラット肝臓のビタミンB12貯蔵量に与えるシアノコバラミンまたはメチルコバラミン経口投与の影響
- ◆ 給食経営管理実習内実習における献立計画および作業内容と労務費の関係について
- ◆ 管理栄養士養成課程における給食経営管理実習の試み —原価管理、衛生管理、労務管理に焦点をあてて—

博士前期課程指導補助教員**成川 真隆** 准教授 [博士(農学)]

- 食品科学、味覚生理学
- 行動・神経生理学的解析による味覚伝導機構の検討 / 機能性食品成分の味覚特性解析 / 環境要因が食嗜好性に及ぼす影響の解析
- (単著) 機能性食品成分の嗜好特性に関する研究、日食科工誌(2022)
- ◆ Expression of olfactory-related genes in the olfactory epithelium of an Alzheimer's disease mouse model. J Alzheimers Dis (2022)
- ◆ Taste characteristics of various amino acid derivatives. J Nutr Sci Vitaminol (2022)
- ◆ 3-GuanidinyI propanol enhances salt taste via TMC4-mediated current. ACS Food Sci Technol (2022)
- ◆ Identification of mouse bitter taste receptors that respond to resveratrol, a bitter-tasting polyphenolic compound. Biosci Biotech Biochem (2022)
- ◆ Molecular logic of salt taste reception in special reference to transmembrane channel-like4 (TMC4). J Physiol Sci (2022)

生活造形学専攻**博士前期課程指導教員****青木 美保子** 教授 [博士(学術)]

- 服飾史、ファッションデザイン
- 近代日本の服飾・染織史
- ▲ 「京都 近代美術工芸のネットワーク」
- ▲ 「アフリカプリント 京都で生まれた布物語」
- 大正・昭和初期の着物図案 —松坂屋の標準図案を巡って—
- 京都における染織工芸の近代化 —古法「墨流し」の改良を中心に—
- 1960年代 日本におけるオートクチュールの受容 —大丸百貨店と大丸ドレスメーカー女学院にかかわった磯村春の活動を手がかりに—

榎本 雅穂 教授 [博士(工学)]

- 生活科学一般、高分子・繊維材料
- 人工皮革や合成皮革に使用されるポリウレタン樹脂の開発を含めた染色と加工 / スポーツウェアに使われる透湿防水布帛の素材開発とそれを用いた機能加工
- ▲ (監修・著作) 「人工皮革・合成皮革」
- ◆ 合成皮革表面にしほを形成するイソソルバイド含有ポリカーボネートジオールを使用したポリウレタン樹脂の物性
- ◆ NIPAM polymer/polyurethane resin films and the moisture transport characteristics of film-treated fabrics
- ◆ Structure and Water Permeability and Resistance Characteristics of N-isopropylacrylamide-based Polymer / Polyurethane Resin Films
- ◆ 表面処理を施したPVC レザーにおける年齢別触感評価と表面摩擦特性との関係
- ◆ Effects of Dyeing Temperature and Molecular Structure on the Dye Affinity of Polyurethane Films containing Polyethylene Glycol Segments
- ◆ リネン洗濯促進試験機を用いた防水シーツの耐久性評価とこれに用いた合成皮革の樹脂組成について

北尾 靖雅 教授 [博士(工学)]

- Built Environment, Designing System, Collective Form of Architecture
- Urban Facilities in Regional Planning, Housing Projects as City Planning, Place and Architecture, Architecture & Modern Movement History of Regional Planning, Space Structure Analysis & Architectural Heritage and Regional Planning, Intellectual Property Right and Architecture
- ▲ Collective Urban Design: Shaping the City as the Collaborative Process, TU-Delft Press, NL
- ▲ Urban Street Design & Planning, WIT Press, GB
- ▲ The Architecture of Ralph Erskin: Contributing to Humanity, Kajima Publishing, JP
- ▲ Adaptive Strategies for Water Heritage: Past, Present and Future, Springer Press, NL

成実 弘至 教授

- 文化社会学、ファッション研究
- 服飾史 / 若者文化研究 / メディア研究
- ▲ 「20世紀ファッションの文化史」
- ▲ 「ファッションで社会学する」
- ▲ 「Japan Fashion Now」
- ▲ 「コスプレする社会」
- ▲ 「モードと身体」
- Street Style and Its Meaning in Postwar Japan
- Made in Japan :A New Generation of Fashion Designers
- Fashion Orientalism and the Limits of Counter Culture
- 文化を創造する都市—ファッション文化支援と創造的労働者としてのデザイナー—

諸岡 晴美 教授 [学術博士]

- アパレル材料学、衣環境学、感性工学
- 歩行アシスト型の高齢者衣料設計 / 快適性を追求したX線防護衣設計 /
- ▲ 「アパレル生理衛生論」
- ▲ 「高機能性繊維の最前線」
- ▲ 「官能評価活用ノウハウ・感覚の定量化・数値化手法」
- ◆ 暑熱環境下における熱中症予防のためのクーリング方策に関する研究
- ◆ 医療従事者用X線防護衣の現状と課題
- ◆ 身体負荷軽減を目的とした医療従事者用X線防護衣材料の開発とその温熱的性質および力学的性質

鶴岡 典慶 教授

- 日本建築史、文化財修復、文化財防災
- 社寺建築の構造手法、伝統建築技法、文化財の防災対策
- ▲ (共著)「世界文化遺産 賀茂御祖神社 下鴨神社のすべて」
- ▲ (共著)「日本の建築文化事典」
- ▲ (共著)「日本の国宝64 京都/東本願寺 西本願寺 龍谷大学」
- ▲ (共著)「国宝教王護国寺大師堂(西院御影堂) 修理工事報告書」
- ▲ (共著)「重要文化財同志社クラーク記念館 修理工事報告書」
- ◆ 城郭壁体構成の年代的要因
- ◆ 蓮乗院廟の霊屋建築について

是永 美樹 准教授 [博士(工学)]

- 建築計画、建築意匠
- 「開く住まい」に関する研究 / 京都近郊の農家住宅の調査 / 現代建築の「座る」部位に関する研究 / 環境に配慮した建築デザイン
- ▲ (単著)「マカオの空間遺産 —観光都市の形成と居住環境」
- ▲ (共著)「境界」から考える住宅: 空間のつなぎ方を読み解く」
- ▲ (共著)「実務初心者からの木造住宅 矩計図・詳細図の描き方」
- 住まいを開放した高齢者の居場所づくりに関する研究
- ◆ マカオの市街地拡大に伴う都市構成に関する基礎的考察
- ◆ 京都市南区東九条地域における農家住宅の基礎的調査
- ◆ 現代の住宅作品における開く住まい方に関する研究

前川 正実 教授 [博士(工学)]

- デザイン学、感性工学
- デザイン方法論 / UI / UX / サービスデザイン / 創造性
- ▲ 「サービスデザインの発想法: アイデアを生み出す17のメソッド」
- ▲ 「デザイナー、エンジニアのためのUX・画面インタフェースデザイン入門」
- デザイン活動のプロトタイプングにおける推論過程 — パースの探求の理論に基づくデザイン推論のダブルサイクルモデル
- 使用過程に基づく不利益の性質把握と分類: 不利益を持つ事物のデザイン方法の探求として
- ◆ 画像の属性と状態レベルによる感性タイプの分類と識別: 心象写真群を刺激としたコンジョイント分析とクラスター分析によるアプローチ
- A Thinking Process Model Based on the Perspective of Editing Constraints to Design Innovative Things
- 利用状況アイデアの記述に基づくコンセプト策定と要件導出に関する考察
- ◆ Specifying Kansei Requirements with the Application of Environmental Psychology Research Methods: Cases of Interior Design in Architecture
- ◆ 工業製品とサービスの利用プロセスと状況に基づくアイデア創出方法

前崎 信也 教授 (Ph.D. in History of Art)

- 美術工芸史、アートマネジメント
- 工芸文化史 / 現代美術批評 / 文化財デジタル・アーカイブ
- ▲ Colors of Kyoto: Seifū Yohei Ceramic Studio
- ▲ 「アートがわかると世の中が見えてくる」
- ▲ 「静寂の南画家 甲斐虎山」
- ▲ 「Made in Kyoto 京都の匠」
- ▲ 「Made in Japan 日本の匠」
- ▲ 「富本憲吉 わが陶器作り」
- ▲ 「大正時代の工芸教育」
- ▲ 「松林鶴之助 九州地方陶業見学記」

井上 えり子 教授 [博士(工学)]

- 建築計画学
- 都市部の空き家問題 / 京都の住居・住文化 / 花街の建築文化
- ▲ 「京の花街—ひと・わざ・まち」
- 宮川町花街の開発経緯に関する一考察
- 地域・行政・専門家集団による空き家対策活動 —六原まちづくり委員会の活動と京都市の空き家対策—
- 産学連携による団地再生の試み —洛西ニュータウンにおける住戸リノベーションとコミュニティ支援活動—

博士前期課程授業担当教員

江口 淑子 准教授

- メディアデザイン、デザイン史
- さまざまな技法のアニメーション、映像 / Webデザイン / インターフェースデザイン
- 和菓子の型 —アルゴリズムを利用した和菓子の多様なデザイン提案—
- Element・structure I
- Element・structure II
- 碧、UZU

渡邊 敬子 准教授 [博士(学術)]

- アパレル体型学、被服構成学
- Mass Customize Clothing のための人体の3次元形状計測とその型紙設計への応用 / 着衣・脱衣動作解析に基づくバリアフリーデザインの衣服設計 / 幼児用衣服設計のための幼児のサイズおよび3次元形状の解析
- Analysis of three dimensional torso shape and bodice pattern shape of young Japanese Women
- ◆ 高齢女性の肩関節の可動域と着衣動作との関連
- ◆ 高齢女性の前あき上衣の構造と着衣動作および着やすさとの関係

生活福祉学専攻

博士前期課程指導教員

井上 文夫 教授 [博士(医学)]

- 小児保健
- 小児の生活習慣病

- ▲ (共著)「最新こども保健 第2版」
- ▲ (共著)「学校と家庭ではぐくむ子どもの生活習慣 改訂版」
- ▲ (共著)「小児肥満症診療ガイドライン2017」
- ◆ 教員養成系大学の保健体育専攻学生における性的マイノリティに関する意識調査
- ◆ Arterial stiffness in junior high school students: Longitudinal observations.
- ◆ 異学年合同給食が児童の社会性の育成に及ぼす影響

大川 尚子 教授 [博士(学校教育学)]

- 養護教諭教育、学校保健、健康教育
- 児童生徒に対する睡眠と疲労の客観的健康評価を活用した不登校予防に関する研究

- ▲ 「理論と実践で迫る「健康教育の教材作りと授業展開」」
- 地域の児童生徒における貧血の実態と背景要因についての疫学的研究
—Evidence-based Health Educationのための基礎的知見—
- ◆ Application of autonomic nervous function evaluation to job stress screening
- ◆ 東日本大震災被災地域における教職員に対する健康評価
- ◆ 月経痛の対処法に関する養護教諭が行う集団の保健教育
- ◆ 大学生の疲労度と自律神経機能評価
—保健室利用者と一般女子学生との比較—

下村 雅昭 教授 [博士(医学)]

- 応用健康科学
- 生活習慣病と運動および休養／心臓病患者の包括的リハビリテーション／特別支援教育／現代社会と向き合う健康教育

- 養護教諭養成課程を希望する学生の志望動機と養成科目に対する関心度
- ◆ Sports programs for patients with ischemic heart disease in japan.
- ◆ 「新版 LD、ADHD等の心理的擬似体験プログラム」使用による大学生の障害理解に対する効果
—養護教諭養成課程の女子学生を対象に—

博士前期課程指導補助教員

鈴木 依子 教授

- 女性福祉、家庭・家族福祉、児童福祉
- 不登校、児童虐待に関する研究／女性の社会関係に関する研究
- 学校に行けない理由とスクールソーシャルワーカーの支援内容の関連について
—スクールソーシャルワーカー実践活動事例集の分析から—

- 子育て及び介護と女性の社会進出の関連について
- 大学生のコミュニティ意識と児童虐待通告との関連
- 環境移行後の高齢期の女性の友人関係と主観的幸福感
—施設入居前後の生き方の差に着目して—
- 施設入居後の高齢女性の主観的幸福感について
—友人関係と高齢期の生き方を中心に—
- ◆ The effect of awareness on the outcome of oral health performed by home care service providers

中村 亜紀 准教授 [博士(保健学)]

- 保健学、社会保障
- 高齢者における要介護状態の変化とその要因に関する研究／高齢者の非侵襲的栄養評価指標に関する研究／がん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究
- ◆ A Three-Year-Follow-up study on the Change in Physical and Mental Functions of the Aged by the Level of ADL
- ◆ わが国の介護労働の方向性
—外国人介護士受け入れ意識調査から—
- ◆ 外国人介護士受け入れに関する意識調査報告書

博士前期課程授業担当教員

千葉 真理子 講師

- 社会福祉
- 福祉サービス供給システムに関する研究／自閉児者における社会福祉と教育の連携／NPO(非営利組織)の組織運営／社会サービス原理に関する研究
- An Investigation into Acceptance of Disabled Children in Out-of-school Care Program
- ◆ 1年間の包括心臓リハビリテーションに参加した維持期高齢者における身体機能の変化とその性差
- ◆ 心臓リハビリテーション参加者の抑うつと社会経済状況に関する調査

生活環境学専攻(博士後期課程)

博士後期課程指導教員

井上 えり子 教授 [博士(工学)]

今井 佐恵子 教授 [博士(農学)]

榎本 雅穂 教授 [博士(工学)]

川添 禎浩 教授 [薬学博士]

北尾 靖雅 教授 [博士(工学)]

辻 雅弘 教授 [博士(医学)]

前川 正実 教授 [博士(工学)]

前崎 信也 教授 (Ph.D. in History of Art)

松尾 道憲 教授 [博士(農学)]

宮脇 尚志 教授 [博士(医学)]

諸岡 晴美 教授 [学術博士]

門間 敬子 教授 [博士(農学)]

廣瀬 潤子 教授 [博士(農学)]

博士後期課程指導補助教員

成実 弘至 教授

坂手 誠治 教授 [学術博士]

※専門分野などについては前記参照



現代社会研究科

Graduate School of Contemporary Society

博士前期課程・博士後期課程

公共圏創成専攻

グローバルに考え、地域で活躍する実践的人材の育成

現代社会研究科公共圏創成専攻は、人文・社会・自然科学の領域を横断して現代社会が直面する環境問題や、少子高齢化問題、地域社会の活性化、市民活動の展開、男女共同参画社会、多文化社会の形成や国際協力、平和構築などの課題を研究することにより、グローバルに考え、地域で活動する人材、すなわち市民参加型の公共圏の創成に貢献する実践的人材を育成します。

実務能力を備えた女性専門家の養成

本研究科は、地域から、日常生活から、世界と地球の将来を見通し、幾多の課題を克服していく上で、女性の視点と活力を積極的に生かすことが不可欠であるとの観点に立って、高度な研究経験とすぐれた実務能力を併せ持つ女性の専門家人材を養成することを目的としています。

個別科学の枠を超えた「現代社会の学」

21世紀の世界が直面する多様で複雑に絡み合った諸問題を、従来の専門分化した個別科学の枠を超えて、総合的に理解し解決することをめざしています。

～5つの分野を設置しています～

①人間・文化 ②家族・地域社会 ③国際・政治・行政 ④経済・経営 ⑤情報・環境

教育プログラムの特色

新しい時代を切り拓く女性のエンパワーメント

公共圏創成専攻では、女性が職業人、市民活動家、あるいは地域住民として、主体的に公共圏を創成していくため、研究能力と実務能力の育成を目的としています。またそのための教育・研究プログラムを提供します。

社会人への配慮

大学院設置基準第14条の特例を適用し、社会人でも修学できる環境を整えています。

学 位

修 士

公共圏創成専攻 修士の学位…修士（現代社会）

博 士

公共圏創成専攻 博士の学位…博士（現代社会）

資格取得

教員免許

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
現代社会研究科	公共圏創成専攻	高等学校教諭専修免許状	公民
		中学校教諭専修免許状	社会

※専修免許状の取得にあたっては、当該教科の「一種免許状」を有する必要があります。

現代社会研究科公共圏創成専攻博士前期課程の教育課程概念図と想定進路



過去の修士論文題目(例)

論文題目

令和4年度 修士論文

- 警察組織の不適切な会計処理の発生要因
—内部統制の観点から—

令和3年度 修士論文

- 立地環境をふまえたスタジアムの機能・役割によるまちづくりへの影響
—横浜スタジアムとノエビアスタジアム神戸を例に—
- メディア変容における女性表象について
—ファッション誌からインターネットへ—
- 少子高齢化と育児・家事労働の外部委託の実態からみた女性の二極化
—中国寧波市の事例から—
- ブロックチェーン技術を応用した高等教育機関の教務システムの改善
- スポーツ時の飲水がもたらす心拍変動への影響

令和2年度 修士論文

- 中国メディアによる典型人物報道の中の「女性エリート」像の変容
- 中国における母子家庭支援の現状と課題

平成30年度 修士論文

- 現代社会において宗教が担いうる医療人類学的可能性について
—幸福の主観的認知から考える—
- 仏教における継承者不足とジェンダー
—天台宗の調査から—

平成29年度 博士論文

- 臨床医療における問題解決型コミュニケーションの理論と実践
—倫理コンサルテーションと医療メディアエーションを中心に—

論文題目

平成28年度 博士論文

- 地域社会を基盤としたまちづくりに関する一考察
—いいだ人形劇フェスタへの運営および観劇への住民参加の実態から—

平成27年度 修士論文

- 2015年統一地方選挙における候補者の分析
—都道府県議会選挙を中心に—

平成27年度 博士論文

- 日中比較の視点から見た中国の近代郵便についての研究
- 周辺からの共和主義:エメ・セゼールとフランス

平成26年度 修士論文

- 待機児童問題の解消に向けての保育所の一考察
—保育士の労働環境に着目して—
- 6次産業確立に向けた地域社会の挑戦
—広島県世羅町を事例に—
- 若者の政治的社会的化
—インターネットは社会化の担い手になれるのか—
- フェムトメートル領域での重力法則検証と余剰次元探索に関する研究
- ラテンアメリカのポピュリズムにおける女性の政治参加をめぐる
—ベネズエラのチャベス政権(1999-2013)の事例を中心に—
- 人体改造をめぐる倫理的・社会的問題
- 里山管理の現状と課題

人間・文化

博士前期・後期指導教員

霜田 求 教授 [博士(文学)]

- 哲学、倫理学
- 生命倫理学／環境倫理学／社会哲学
- ▲ 『臨床倫理の考え方と実践—医療／ケアチームのための事例検討法』
- ▲ 『生命と科学技術の倫理学』
- 遺伝学的検査ビジネスをめぐる倫理と法：祖先検査と子ども才能検査を中心に
- 先端医療をめぐる倫理
- Brain, Mind, Body and Society: Autonomus System in Robotics

濱崎 由紀子 教授 [Ph.D.]

- 精神医学、精神病理学
- 統合失調症の児童期におけるサブクリニカルな特性
- The possibility of quite early detection of schizophrenic children.
- 統合失調症の児童期におけるサブクリニカルな心理・行動特性について

博士前期指導教員・後期指導補助教員

正木 大貴 教授 [博士(医学)]

- 臨床心理学、精神医学
- 心理療法／物語と心理臨床
- ▲ 『専門医のための精神科臨床リユミエール26 依存症・衝動制御障害の治療』
- 承認欲求についての心理学的考察—現代の若者とSNSとの関連から—
- SNSは人間関係を変えたのか？

博士前期指導補助教員

江口 聡 教授

- 哲学、倫理学
- 生命倫理学／情報倫理学／性の倫理学／メタ倫理学／功利主義／キェルケゴール
- 性・人格・自己決定：セックスワークは性的自由の放棄か
- ドン・マーキスの反妊娠中絶論とその批判
- 国内の生命倫理学における「パーソン論」の受容

藤井 隆道 教授 [博士(文学)]

- インド哲学・仏教学、宗教学
- 古典インドの言語論・存在論・人間論／現代社会と宗教・仏教
- Cooperation or Nonintervention?: Two Types of Apologetic Arguments in Indian Thought
- 徳福不一致の問題とインド思想—苦に与えられた説明—
- Sentence Meaning as a Causal Process

博士前期授業担当教員

佐藤 若菜 准教授 [博士(地域研究)]

- 文化人類学、地域研究
- ミャオ族女性の民族衣装と親族関係
- ▲ 『衣装と生きる女性たち：ミャオ族の物質文化と母娘関係』
- 『衣装がつなく母娘の「共感的」関係：中国貴州省のミャオ族における実家・婚家間の移動とその変容』
- 『中国貴州省のミャオ族における民族衣装の物質性：上衣の製作に着目して』
- 『中国本土・台湾の漢族に関する1990年代以降の親族研究：女性に着目した新たな動き』
- 『「民族」を変える人々：中国貴州省東南部のミャオ族と漢族の村の事例から』

澤 敬子 准教授

- 法社会学
- ジェンダーと法／法曹とジェンダー
- ▲ 『法曹継続教育の国際比較』
- 司法におけるジェンダー・ダイバシティと権利の実質化
- 社会が作る法、法が変える社会—ジェンダーとマイノリティを手がかりに法社会学を学ぶ
- スペイン護民官聞き取り調査報告—ジェンダー・バイオレンス問題を中心に—

家族・地域社会

博士前期・後期指導教員

嘉本 伊都子 教授 [博士(学術)]

- 歴史社会学
- 社会学／国際結婚論／歴史社会学／比較家族・社会史
- ▲ 『国際結婚の誕生』
- ▲ 『国際結婚論? 現代編・歴史編』
- “Creating Spatial Hierarchies: The *Koseki*, Early International Marriage and Intermarriage”
- 国際結婚と家族・都市・村落—日本型モダンシティへの希求

中道 仁美 教授 [博士(農学)]

- 農村社会学、女性学
- 農山漁村の人とくらし／農山漁村のジェンダー／EUの地域政策
- 『森林・林業に関わる女性の結婚・就労にみる移動とキャリア形成』
- ▲ 『復興を取り戻す』
- ▲ 『スウェーデン北部の住民組織と地域再生』
- ▲ 『From Community to Consumption』
- ▲ 『女性からみる日本の漁業と漁村』

博士前期指導教員・後期指導補助教員

奥井 亜紗子 准教授 [博士(学術)]

- 家族社会学、農村社会学
- 家族変動／移動／農村／地方社会
- ▲ 『農村—都市移動と家族変動の歴史社会学—近現代日本における「近代家族の大衆化」再考—』
- 労働力型都市移動と同郷ネットワークの「論理」—但馬出身者による京阪神都市圏下大衆食堂の展開を事例に—
- 京都市東山区における自主防災組織と町内会の現状—2018年自主防災部長アンケート調査より—

森久 聡 准教授 [博士(社会学)]

- 都市社会学、環境社会学、社会調査法
- 地域再生／まちづくり／労働災害／空間と記憶
- ▲ (共編著) 『社会学で読み解く文化遺産—新しい研究の視点とフィールド』
- ▲ 『〈艸の浦〉の歴史保存とまちづくり—環境と記憶のローカル・ポリティクス』
- 『環境社会学における労働災害研究の現代的意義と可能性—三池炭塵爆発CO中毒事故の飯島伸子調査データの二次分析から』

国際・政治・行政

博士前期・後期指導教員

鳥谷 一生 教授 [博士(商学)]

- 国際経済論、国際金融論
- 国際通貨金融システム論／東アジア経済論
- ▲ 『中国・金融「自由化」と人民元「国際化」の政治経済学』
- ▲ 『世界経済論 第二版』
- ▲ 『グローバル金融資本主義のゆくえ』
- ▲ 『国際通貨体制と東アジア』
- 安定した国際通貨制度をもとめて—国連・国際通貨金融システム改革専門委員会「報告書」を読んで—

戸田 真紀子 教授 [博士(法学)]

- 比較政治学
- アフリカ地域研究
- ▲ (単著) 『貧困、紛争、ジェンダー—アフリカに与える影響の比較政治学—』
- ▲ (単著) 『アフリカと政治 紛争と貧困とジェンダー—わたしたちがアフリカを学ぶ理由— 改訂版』
- ▲ (共編著) 『国際関係のなかの子どもたち』
- ▲ (共編著) 『改訂版 国際社会学を学ぶ』
- ▲ (共編著) *Female Genital Mutilation/Cutting: Global Zero Tolerance Policy and Diverse Responses from African and Asian Local Communities.*

林 忠行 教授

- 国際政治史、東欧地域研究
- 第一次世界大戦期の東欧をめぐる国際関係／ポスト共産党時代の東欧比較政治
- ▲ (単著)『チェコスロヴァキア軍団—ある義勇軍をめぐる世界史』
- ▲ (共著)Russia's Great War and Revolution in the Far East: Re-imagining the Northeast Asian Theater
- ▲ (共著)『現代の起点 第一次世界大戦2 総力戦』
- ▲ (共著)『ネオリベラリズムの実践現場—中東欧・ロシアとラテンアメリカ』
- ▲ (共著)『ポスト社会主義期の政治と経済—旧ソ連・中東欧の比較』

松本 充豊 教授 [博士(政治学)]

- 政治学
- 東アジア比較政治／現代台湾政治／政治経済論
- ▲ 「選挙と民主主義」
- ▲ 「北東アジアの市民社会—投企と紐帯」
- ▲ Presidents, Assemblies and Policy-Making in Asia
- ▲ 「現代台湾の政治経済と中台関係」
- 台湾における政権交代と検察制度の独立性

博士前期指導教員・後期指導補助教員**松田 哲** 教授

- 国際関係論
- 南北問題史／途上国開発理論／スリランカ地域研究
- ▲ 「人間存在の国際関係論—グローバル化のなかで」
- ▲ 「地域紛争の構図」
- スリランカ:2つの言語ナショナリズムの対立—BC協定・1958年の民族暴動・バンダーラナーヤカの死

経済・経営**博士前期指導教員****掛谷 純子** 准教授

- 会計学
- 地方自治体や非営利組織の管理会計
- ▲ 「京都企業 歴史と空間の産物」
- ▲ 「新地方公会計制度の徹底解説」
- 地方自治体における行政評価の目的とその内容—財務会計と管理会計の視点から—
- 「管理会計手法としての行政評価と職員の意識」
- 「地方自治体における第三セクター等の点検評価とその財務的成果」
- ◆ 「簿記教育における習熟度別クラス編成の教育効果」

博士前期授業担当教員**坂爪 聡子** 教授 [博士(経済学)]

- 家族経済学
- 人口問題／女性就業・出生・結婚
- 経済的支援が子ども数と女性の労働供給に与える影響—児童手当と保育サービス利用への補助に関するモデル・シミュレーション分析—
- 少子化対策として効果的なのは保育サービスの充実か労働時間の短縮か?
- 女性の労働供給と子ども数と同時に増加する条件—家計内生産モデルによる分析—

江 向華 准教授 [博士(学術)]

- 経営学
- 経営戦略／価値共創
- ▲ (単著)『中国大企業の競争力分析』
- ▲ (共著)『ケースで学ぶ価値共創マーケティングの展開—新たなビジネス領域への挑戦—』
- ▲ (共著)『サービス社会のマネジメント』
- 「企業の内外における資源統合:台湾企業を事例として」

情報・環境**博士前期・後期指導教員****諏訪 亜紀** 教授 [Ph.D.]

- 環境政策論、環境開発論
- 再生可能エネルギー政策
- ▲ 「コミュニティと共生する地熱利用」
- ▲ Sustainability and the Automobile Industry in Asia: Policy and Governance
- ▲ Local Energy Governance: Opportunities and Challenges for Renewable and Decentralised Energy in France and Japan

宮下 健輔 教授 [博士(工学)]

- 情報工学
- ネットワーク管理・運用手法に関する研究、学習システムに関する研究
- ◆ Japanese Activities to bring online academic meetings against COVID-19: How We Learned to Stop Worrying and Love the Online Meetings
- ◆ Toward Sustainable Learning Economy through a Block-chain based Management System
- ◆ オンライン学術研究会議の運営に関する一考察
- ◆ A Decentralized Learning Support System Using Blockchain Based on a Learning Economy Model
- ◆ スマートなコンピテンシーマネジメントシステムの提案

博士前期指導教員・後期指導補助教員**丸野 由希** 准教授 [博士(工学)]

- 機械学習
- プログラミング教育／生体信号処理
- ▲ 「楽しいプログラミング[増補改訂新版]—オブジェクト指向言語Rubyを使って—」
- RubyコミュニティとRails Girls—オープンソースを支えるコミュニティと運動—
- ◆ Canine Emotional States Assessment with Heart Rate Variability

中山 貴夫 教授 [博士(工学)]

- 情報工学
- ネットワーク監視／トラフィック観測
- 拡張性を考慮したWiMAXルータによるイベントネットワーク構築
- 小型PCとソフトウェアルータによるイベントネットワーク構築の検討
- ◆ A WWW Server Benchmark System in IPv6 Environment
- ◆ OpenDirectoryとActiveDirectoryを併用したコンピュータ教室運用
- ◆ 京都女子大学におけるサーバ仮想化基盤の構築

博士前期授業担当教員**中田 兼介** 教授 [博士(理学)]

- 動物生態学、動物行動学
- 生態／環境
- ▲ クモの臼
- Female genital mutilation and monandry in an orb-web spider
- ◆ Body-colour variation and its effect on predation success in an orb-web spider

法学研究科

Graduate School of Law

修士課程

法学専攻

ジェンダー視点をグローバルな人権基準に基礎づけ、法的課題に取り組む能力と高度な法的専門能力を修め主体的に活躍する人材の養成を目標として、自治行政、企業法務、国際機関さらにはパラリーガルの領域において高い知見が得られるように、それぞれの領域に進む人材を育成する履修モデルを用意しています。

本研究科では、学修を進める法的基礎学力を有するとともに、ジェンダー視点やグローバル基準としての人権理解に強い関心を有する人材を求めます。

また、公共法務、企業法務およびジェンダー法の3領域に関連する科目に関して、社会人の再教育を担うことも本研究科のもう一つの目的です。働きながら学びキャリアアップを望む社会人に門戸を開いた授業体制を持ち、入学試験では社会経験や研究計画書などを重視した社会人選考を実施します。

研究・指導体制

実践教育を重視した少人数教育

各領域には、実務経験豊かな教員による授業を配置し、理論と実践のつながりを学ぶ機会を提供しています。また、本研究科では5名の入学定員に対し、15名の専任教員を用意しています。1名の学生に対し指導担当教員の他に関連科目の指導教員がついて指導を行い、各学生の研究の専門性を深めるために、個別指導を行っています。

希望者は、本学と提携した、法律事務所、国際NGO、企業において「法実務実習」を行うことも可能です。実務を経験することにより、自らの学びを深め、論理的な思考力・問題発見力・課題解決力など実践的な力を身につけることができます。

長期履修学生制度・社会人への配慮

職業を有している等の事情により、標準修業年限での大学院の教育課程履修が困難な学生に限り、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する制度を導入しています。また、長期履修学生に対しては、できる限り平日6講時（18時10分～）や土曜日開講等の配慮を行い、必要に応じて同じ授業を標準修業年限の学生とは別の時間帯にも開講する等、社会人が入学しやすい環境を整備しています。

研究環境

ジェンダー法学で高い実績を誇る、梨花女子大学（ソウル）および韓国女性開発院（国家機関）と提携し、希望者は海外研修に参加することができます。また院生共同研究室には、個人がそれぞれ使用できる机やパソコン、書架等を整備。専門の法学関係の図書資料をそろえた資料室もあり、研究に集中できる環境です。

学位

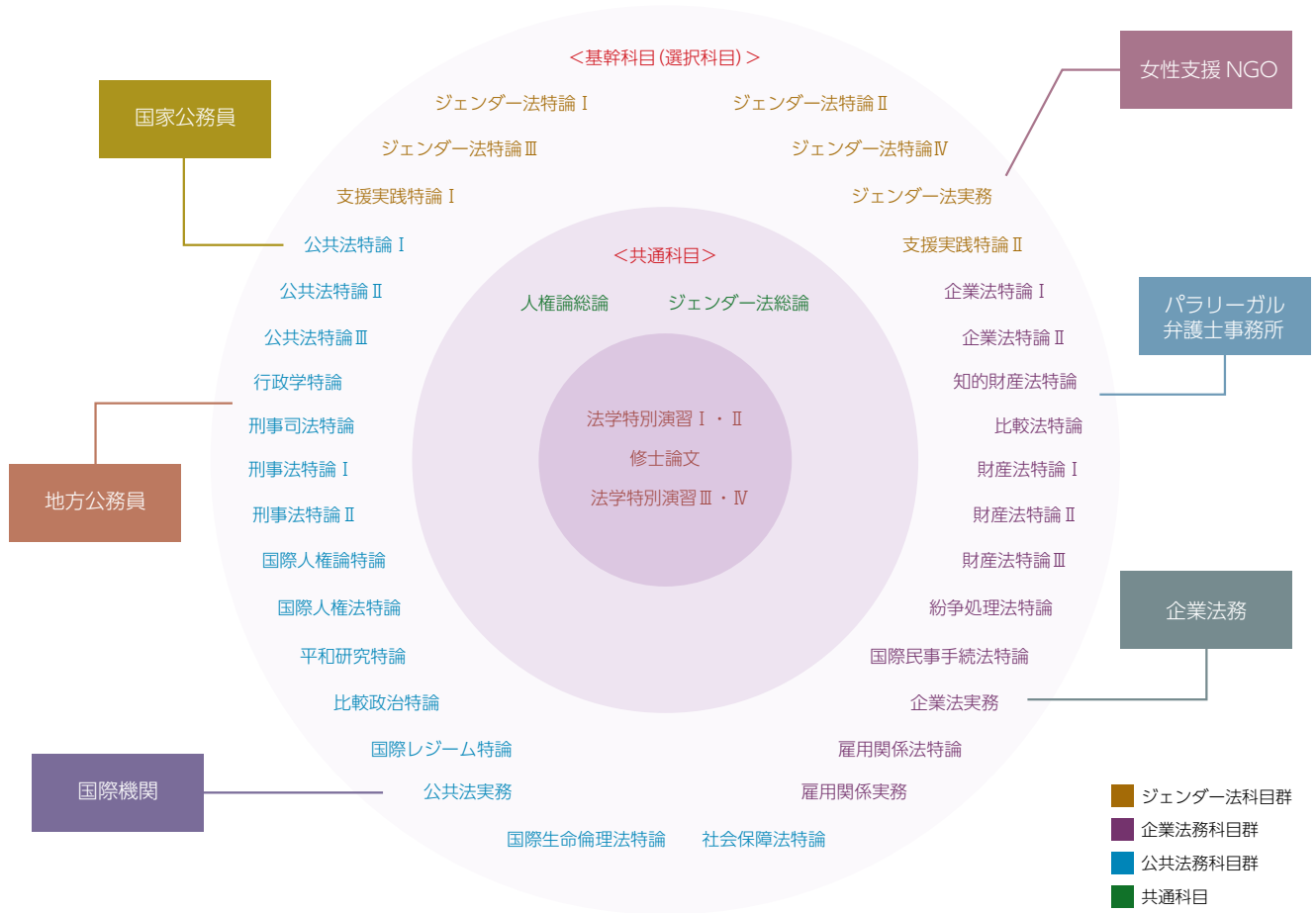
修士

法学専攻 修士の学位…修士（法学）

修了生の想定進路

本研究科の修了生の進路としては、高度な知識を備えて公共部門で活躍する国家公務員や地方公務員、ジェンダー視点を備えた法的実践的能力を支援等に発揮する国際機関やNGO（非政府組織）、NPO（特定非営利活動法人）等の職員、法律事務や渉外事務を担当するパラリーガルとして活躍できる法律事務所職員、各種企業法務従事者、研究者等を想定しています。

法学研究科の教育課程概念図と想定進路



※上記概念図は2022年度カリキュラムに基づくものであり、今後カリキュラム改正により変更されることがあります。

過去の修士論文題目(例)

年度	修士論文題目
[令和3年度]	
法学	・日本における外国人労働者の受入れ制度に関する法的研究 ～外国人技能実習制度の検討を中心に～
法学	・忘れられる権利
法学	・家事時間の男女格差の解消 —男性の育児休業取得に着目して—
[令和元年度]	
法学	・有人サブオービタル旅客運送に関する航空・宇宙法上の考察
[平成30年度]	
法学	・墓地と行政 —周辺住民の精神的苦痛との関連で—
法学	・高度情報化社会と犯罪形態の変化について

年度	修士論文題目
[平成29年度]	
法学	・日本の労働に関する一考察 —ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて—
法学	・同性カップルの生きやすい社会とは —パートナーシップ制度を中心に—



法学研究科 教員組織

授業担当教員は指導教員として選べません。

法学専攻

修士課程指導教員

市川 ひろみ 教授

- 国際関係論、平和研究
- 兵役拒否／ミクロの視点からの紛争研究
- ▲ 「兵役拒否の思想—市民的不服従の理念と展開—」明石書店、2007年
- ▲ 「編著」『国際関係論の生成と展開—日本の先達との対話—』ナカニシヤ出版、2017年
- 「編著」『国際関係論のアポリア—思考の射程—』晃洋書房、2021年
- 「国家の論理に抗した人々—日本における徴兵忌避・兵役拒否」愛敬浩二他編『自由と平和の構想力』日本評論社、2023年
- 「Historical Development of Conscientious Objection and its system: An Analysis from the Perspective of Aporia. (Hiroshima Peace Science 43, 2021)」

伊藤 陸 教授 [博士(法学)]

- 刑事訴訟法
- 伝聞法則／証人審問権／証拠法
- ▲ 「(共著)『判例学習・刑事訴訟法』(第3版) (法律文化社、2021年)」
- ▲ 「(共著)『リーディングス刑事訴訟法』(法律文化社、2016年)」
- 「遮へい措置とビデオリンク方式の問題 (季刊刑事弁護94号105頁、2018年)」
- 「捜査・公判協力型協議・合意制度 (季刊刑事弁護82号75頁、2015年)」
- 「取調べ可視化と証拠法 (法律時報85巻9号60頁、2013年)」

岡田 愛 教授

- 民法総則
- 意思表示／錯誤論
- ▲ 「『同一性の錯誤』(一学舎、2015年)」
- ▲ 「(共著)『ロードマップ民法1 (第2版)』(第11章 意思の不存在(3) 錯誤担当) (一学舎、2019年)」
- ▲ 「(共著)『債権法各論(第2版)』(スタンダード民法シリーズIV 第5章その他の契約担当) (嵯峨野書院、2020年)」
- 「預託金制ゴルフ会員権売買の錯誤をめぐる二つの判決について—大阪高判平成29年4月27日(判時2346号72頁)と大阪地判平成30年9月10日(WestlawJapan文献番号2018WLJPCA09106006)—」(京女法学19号、48頁、2021年)」

烏蘭格日樂 教授 [博士(法学)]

- 労働法
- 非正規雇用労働者をめぐる法規制のあり方 女性の働き方と法制度
- ▲ 「(共著)香川孝三編著『アジア労働法入門』(晃洋書房、2022年)」
- ▲ 「(共著)大内伸哉編『有期労働契約の法理と政策—法と経済・比較法の知見をいかして』(弘文堂、2014年)」
- 「日本における外国人労働者をめぐる法政策の展開と課題—労働市場に及ぼす影響と人権保障の視点から—」(京都女子大学宗教・文化研究所『研究紀要』第36号21-43、2023年)」
- 「中国における女性の就労と妊娠・出産に関する法制」(京女法学第20号107-124、2021年)」
- 「Trends and Issues of Legal policy on Foreign Workers in Japan」(*East Asian Review*, Vol.18, pp237-263, 2019)」

北村 貴 教授 [博士(公共経営)]

- 憲法
- 比較憲法／オーストリア憲法／スイス憲法
- ▲ 「(共著)『世界の憲法政治』(志學社、2021年)」
- 「新型コロナワクチンの強制接種に対するオーストリア憲法裁判所の合憲性審査」、「憲法研究」第55号、2023年、1-22頁。
- 「スイスにおける司法権の独立—連邦裁判所裁判官と政党の関係をめぐって—」、「法政治研究」、第9号、2023年、145-170頁。
- 「公立小学校における児童のスカート着用禁止に対するオーストリア憲法裁判所の違憲判決」、「法政治研究」、第8号、2022年、43-61頁。
- 「オーストリア憲法の基本原理—法秩序における位置づけと本質的要素」、「比較憲法研究」、第31号、2019年、175-199頁
- 「憲法硬性度は憲法改正に影響を与えるか—憲法制度と憲法政策の総合研究」、「法政治研究」第4号、2018年、85-111頁

桜沢 隆哉 教授

- 商法、会社法、保険法、金融法、商取引法
- 株式会社のガバナンスの法的諸問題／第三者のためにする生命保険契約における保険金受取人の法的地位
- 「保険金受取人の法的地位に関する一考察(1)～(5)」『京女法学』第7号121-192頁(2014年)、第9号57-99頁(2016年)、第10号71-104頁(2016年)、第11号127-169頁(2017年)、第14号91-203頁(2018年)」
- 「破産手続と生命保険契約上の権利の保護—アメリカ法を参考に—」『生命保険論集』209号165-215頁(2019年)」
- 「取締役選任合意の法的拘束力」『京女法学』第17号23-50頁(2020年)」
- 「不慮の事故該当性—事故態様の外形的・客観的態様から判断した事例」『保険事例研究会レポート』335号16-28頁(2020年)」

志津田 一彦 教授 [博士(法学)]

- 商法、企業法、消費者法
- 海商法／現代ビジネス法／多国籍企業法／リスクマネジメントと法／SDGsとビジネス法
- ▲ 「船舶先取特権の研究」(成文堂、2010年)
- ▲ 「論点ビジネス・ロー」(青林書院、2013年)
- 「ディスクレの評価と信用状債務」永井和之先生古稀記念(企業法学の論理と体系、369-400頁、中央経済社、2016年)」
- 「製造中の船舶と改正船舶担保権法の一考察」京女法学18号1-56頁(2020年)」
- 「改正船舶担保権法をめぐる現状と課題」丸山秀平先生古稀記念(商事立法における近時の発展と展望、209-231頁、中央経済社、2021年)」
- 「CSR・SDGsをめぐる法政策的的手法についての一考察—特に社外取締役のありかたなどを中心に—」京女法学21号29-97頁(2022年)」

手嶋 昭子 教授 [博士(法学)]

- ジェンダーと法、法社会学、家族法
- 親密圏における暴力と法／被害者支援と加害者更生
- ▲ 「親密圏における暴力—被害者支援と法—」(信山社、2016)
- 「暴力と責任—被害者支援・加害者更生から見た量刑判断—」(法と社会研究4号、115-144頁、2019年)」
- 「ジェンダー不平等とドメスティック・バイオレンス」(法社会学82号、93-110頁、2016年)」
- 「DV被害者支援における自治体間格差—法政策と実施のギャップの一例として」(法社会学72号、201-223頁、2010年)」

船越 優子 教授 [Master of Laws (アメリカ) / 博士(法学)]

- 民法、英米法
- 契約／不法行為／信義則
- 「使用者の安全配慮義務違反による損害賠償と過失相殺—東芝(鬱病)事件」(法律時報88巻13号、2016年)」
- 「通信社からの配信に基づく記事を掲載した新聞社の名誉毀損による不法行為責任の成否」(法律時報87巻4号、2015年)」
- 「自己信託の設定 Estate of Heggstad」(アメリカ判例百選別冊ジュリスト213号、2012年)」
- 「コモン・ローにおける信義誠実の原則」(博士論文、神戸大学大学院法学研究科、2008年)」

前田 直子 教授 [博士(人間・環境学)]

- 国際人権法
- 国連における人権保障制度の実効性／欧州地域における人権保障制度の発展／外国人・難民の入国・在留管理
- Forty Years' Practice of the UN Human Rights Committee for Implementation of the Covenant: A Universal Model for the Protection and Promotion of Human Rights (*Japanese Yearbook of International Law*, vol. 60, 2018)
- 「外国人の在留管理における児童の権利条約の適用可能性
—日本政府の解釈宣言に関する『解釈』をめぐって」
(国際法外交雑誌113巻第4号、2015年)
- Reinforcement of the Execution of Judgment of the European Convention on Human Rights: Development and Challenges (*Journal of Law and Politics*, Nagoya University, vol. 258, 2014).
- 「人権条約における個人申立・通報制度の発展と課題
—国際的実施と国内的実施の相乗効果による実効性確保—」(博士論文、京都大学、2010年)

松塚 晋輔 教授 [Magistra rerum publicarum(ドイツ)/
博士(法学)]

- 行政法
- 行政処分論／自治体合併／民営化論
- ▲ 「民営化の責任論」(成文堂、2003年)
- ▲ 「私企業による公共施設管理責任のドイツ判例研究—もう1つの個人責任」
『行政手続・行政救済法の展開
—西塾章先生・中川義朗先生・海老澤俊郎先生
喜寿記念』碓井光明・稲葉 馨・石崎誠也編信山社(信山社、2019年)
- 「ドイツ技術検査の国家責任論と日本
—マイルストーンか他山の石か—」
(京女法学21号、99-124頁、2022年)

的場 朝子 教授

- 国際私法、国際民事手続法
- 保全命令の国際裁判管轄／企業の国際的な不法行為と国際裁判管轄／差止めを命じる判決等の国際裁判管轄と執行／など
- 「欧州司法裁判所による保全命令関連判断—ブリュッセル条約24条(規則31条)の解釈」
(神戸法学雑誌58巻2号、99頁以下、2008年)
- “The Systems Enforcing Patent Rights beyond Borders: In the EU States” (*Kobe University Law Review*, No.43, pp. 17-41, 2010)
- 「多国籍企業による『不法行為』に対して民事的救済を求める訴えの国際裁判管轄と人権の保護—EUにおける状況を中心として」
(国際法外交雑誌115巻1号、20頁以下、2016年)
- 「管轄合意の実効化と訴訟差止め命令の承認」
(酒井一 編『国際的権利保護制度の構築—多様な権利と国際民事執行・保全法』
[信山社、2021年]第10章)
- 「差止めを命じる外国判決等の承認・執行の在り方についての一考察」
(国際私法年報23号、140頁以下、2022年)

南野 佳代 教授

- ジェンダーと法、法社会学
- 司法におけるジェンダー・バイアス／法曹とくに司法のジェンダー研修／司法制度
- ▲ (編著)『法曹継続教育の国際比較—ジェンダーで問う司法』(日本加除出版、2012年)
- ▲ (共著)『新入生のためのリーガル・トピック50』(法律文化社、2016年)
- ▲ (共著)『スタンダード法社会学』(北大路書房、2022年)
- ▲ (共著)『新ブリッジブック法社会学—臨床的アプローチ』(信山社、2022年)
- 「司法におけるジェンダー・バイアスへの取組みと司法教育」(法社会学77号、2012年)
- Introducing gender training in judicial education in Japan to support the judiciary (*International Journal of the Legal Profession* 2014)

山本 光英 教授

- 刑法学
- ドイツ刑法／謀殺罪／結果的加重犯
- ▲ 「ドイツ謀殺罪研究」(法学社、1998年)
- 「結果的加重犯の共同正犯」
(北九州市立大学法政論集38巻4号、2010年)
- 「結果的加重犯の未遂について」
(北九州市立大学法政論集41巻3=4合併号、2014年)

修士課程指導補助教員

谷口 哲也 准教授

- 民事訴訟法
- 倒産処理法
- 「破産管財人の全体損害賠償責任に関する序論的考察」
京女法学20号(2021年)
- 「破産法85条の理解」
清和法学研究23巻2号(2019年)
- 「担保権の一部実行をめぐる問題」
清和法学研究22巻2号(2017年)
- 「破産免責後の強制執行に関する考察—悪意の不法行為に基づく損害賠償請求権を中心に—」清和法学研究 21巻2号(2016年)

教員組織は変更される可能性があります。



募集人数 / 学位授与状況

募集人数

文学研究科

研究科	専攻	研究領域	博士前期課程 募集人員(名)	博士後期課程 募集人員(名)
文学 研究科	国文学専攻	国文学	6	3
		国語学		
		漢文学		
	英文学専攻	英米文学	6	英文学・ 米文学・英語学 3
		英語学		
	史学専攻	日本史学	6	3
東洋史学				
西洋史学				

学位授与状況

文学研究科

研究科	専攻	研究領域	平成 30年度(件)		令和 元年度(件)		令和 2年度(件)		令和 3年度(件)		令和 4年度(件)	
			修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士
文学 研究科	国文学専攻	国文学	1	1	2	1*	1	1	2	0	2	0
		国語学										
		漢文学										
	英文学専攻	英米文学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		英語学										
	史学専攻	史学	0	0	0	1*	7	1	6	0	3	0

※論文博士

発達教育学研究科 博士前期課程・修士課程

研究科	専攻	研究領域	募集人員(名)
発達教育学 研究科	教育学専攻		6
	心理学専攻	心理学	8
		臨床心理学	
	表現文化専攻		8
児童学専攻		6	

発達教育学研究科 博士前期課程・修士課程

研究科	専攻	研究領域	平成 30年度(名)		令和 元年度(名)		令和 2年度(名)		令和 3年度(名)		令和 4年度(名)	
			修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士
発達教育学 研究科	教育学専攻		4	2	2	2	1	2				
	心理学専攻	心理学	6	3	4	4	4	2				
		臨床心理学										
	表現文化専攻		3	2	3	3	3	2				
児童学専攻		0	2	1	1	1	0					

発達教育学研究科 博士後期課程

研究科	専攻	研究領域	募集人員(名)
発達教育学 研究科	教育学専攻	教育学 心理学	3

発達教育学研究科 博士後期課程

研究科	専攻	研究領域	平成 30年度(名)		令和 元年度(名)		令和 2年度(名)		令和 3年度(名)		令和 4年度(名)	
			修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士
発達教育学 研究科	教育学専攻	教育学 心理学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

家政学研究科 博士前期課程

研究科	専攻	研究領域	募集人員(名)
家政学 研究科	食物栄養学専攻		6
	生活造形学専攻	造形意匠学 アパレル造形学 空間造形学	6
		生活福祉学専攻	

家政学研究科 博士前期課程

研究科	専攻	研究領域	平成 30年度(名)		令和 元年度(名)		令和 2年度(名)		令和 3年度(名)		令和 4年度(名)	
			修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士
家政学 研究科	食物栄養学専攻		7	7	4	0	3					
	生活造形学専攻	造形意匠学 アパレル造形学 空間造形学	4	5	4	3	3					
		生活福祉学専攻	0	1	0	1	1					

家政学研究科 博士後期課程

研究科	専攻	研究領域	募集人員(名)
家政学 研究科	生活環境学専攻	食物栄養学 生活造形学	2

家政学研究科 博士後期課程

研究科	専攻	研究領域	平成 30年度(名)		令和 元年度(名)		令和 2年度(名)		令和 3年度(名)		令和 4年度(名)	
			修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士
家政学 研究科	生活環境学専攻	食物栄養学 生活造形学	5*	3*	1	2	1					
			0	0	0	0	0	0	1			

※論文博士含む

現代社会研究科

研究科	専攻	研究領域	博士前期課程 募集人員(名)	博士後期課程 募集人員(名)
現代社会 研究科	公共圏創成 専攻	人間・文化	6	3
		家族・地域社会		
		国際・政治・行政		
		経済・経営		
		情報・環境		

現代社会研究科

研究科	専攻	研究領域	平成 30年度(名)		令和 元年度(名)		令和 2年度(名)		令和 3年度(名)		令和 4年度(名)	
			修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士
現代社会 研究科	公共圏 創成専攻		2	0	0	0	2	0	5	0	1	0

法学研究科 修士課程

研究科	専攻	募集人員(名)
法学研究科	法学専攻	5

法学研究科

研究科	専攻	平成 30年度(名)		令和 元年度(名)		令和 2年度(名)		令和 3年度(名)		令和 4年度(名)	
		修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士
法学研究科	法学専攻	2	1	0	3	0					

奨学金／就職

奨学金

京都女子大学院生の奨学金データ(2022年度実績)

名称・種類		金額	採用者数	
京都女子大学奨学金	給付	当該学期の授業料の全額相当額 または30万円・20万円・10万円・5万円	2名	
京都女子大学育友会奨学金	給付	その都度決定	0名	
日本学生支援機構・第一種奨学金	貸与 (無利子)	博士前期・修士	月額 50,000円・88,000円 から選択	2名
		博士後期	月額 80,000円・122,000円 から選択	1名
日本学生支援機構・第二種奨学金	貸与 (有利子)	博士前期・修士	5万円・8万円・10万円・ 13万円・15万円 から選択	1名
		博士後期		0名

※上記の一覧は、2023年度以降変更となる可能性があります。

2022年度大学院修了者就職等状況

		修了生数	就職希望者				就職を 希望しない者	進学・研修等						家事手伝い・ アルバイトなど	
			就職決定者	就職未決定者	進学・研修等 入学	他大学院 入学		留学	聴講生	研究生	各種学校	専修学校			
博士前期課程・修士課程	文学研究科	国文学専攻	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		英文学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		史学専攻	3	2	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	発達教育学研究科	教育学専攻	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
		心理学専攻	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		表現文化専攻(修士)	2	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	家政学研究科	児童学専攻(修士)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		食物栄養学専攻	3	2	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
		生活造形学専攻	3	2	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	現代社会研究科	生活福祉学専攻	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公共圏創成専攻		1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
法学研究科		法学専攻(修士)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	19	12	12	0	7	4	3	0	0	1	0	3		
博士後期課程	文学研究科	国文学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		英文学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		史学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発達教育学研究科	教育学専攻	2	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	
	家政学研究科	生活環境学専攻	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
現代社会研究科	公共圏創成専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	合計	4	2	2	0	2	2	2	0	0	0	0	0		

入試日程／学修環境

サポート体制／受入制度

入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日
博士前期課程・修士課程 一般選抜 秋季 社会人特別選抜 秋季	2023年 9月20日(水)～ 10月 5日(木)(消印有効)	2023年 10月28日(土)	2023年 11月 9日(木)
博士前期課程・修士課程 一般選抜 春季 博士後期課程 社会人特別選抜 春季	2024年 1月17日(水)～ 1月26日(金)(消印有効)	2024年 2月17日(土)	2024年 2月22日(木)
	出願期間	選考結果発表	
外国人留学生特別選抜第1次選考(博士前期・修士課程)秋季	2023年 8月17日(木)～ 8月23日(水)(消印有効)	2023年 9月15日(金)	
外国人留学生特別選抜第1次選考(博士後期・前期・修士課程)春季	2023年12月 7日(木)～ 12月14日(木)(消印有効)	2024年 12月21日(木)	
	出願期間	試験日	合格発表日
外国人留学生特別選抜第2次選考(博士前期・修士課程)秋季	2023年 9月20日(水)～ 10月 5日(木)(消印有効)	2023年 10月28日(土)	2023年 11月 9日(木)
外国人留学生特別選抜第2次選考(博士後期・前期・修士課程)春季	2024年 1月17日(水)～ 1月26日(金)(消印有効)	2024年 2月17日(土)	2024年 2月22日(木)

※詳細については大学院募集要項を必ずご確認ください。法学研究科は外国人留学生特別選抜はありません。
上記以外に、本学卒業見込または本学卒業者を対象とした「学内推薦選抜」を実施しています。出願条件等の詳細については、大学院募集要項をご確認ください。

学修環境

院生専用 研究室

大学院生には専用の研究室が設けられており、幅広い視野を身につけながら、それぞれの専門性を深められる環境が用意されています。学生同士が切磋琢磨し、落ち着いた雰囲気の中で研究に専念することができます。



法学研究科学生研究室



現代社会研究科学生研究室



食品学第1研究室

サポート体制

長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限での大学院の教育課程履修が困難な学生に限り、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する制度です。博士前期課程及び修士課程、博士後期課程で導入されています。

また、社会人に対しては、できる限り平日6講時（18時10分～）等の配慮を行い、必要に応じて同じ授業を標準修業年限の学生とは別の時間帯にも開講する等、社会人が入学しやすい環境を整備しています。

社会人学生

図書館

本学図書館は約86万冊、雑誌約11,000タイトルを所蔵し日本の女子大学ではトップクラス。研究に役立つ専門図書も多分野にわたり揃えています。

また図書館のホームページ上から利用できるデータベースをはじめ、電子ジャーナルや電子ブックといった電子情報も提供しており、情報検索サービスを充実させています。

ティーチング・アシスタント制度

優秀な大学院生に本学大学院修士課程（博士前期課程）または本学学部学生などに対するチュータリング（助言）や実験・実習・演習などの教育補助業務に携わってもらうことで、将来的に教員・研究者になるための教育トレーニングの機会を提供しています。また、業務に対する手当を支給することで、大学院生の処遇改善の一助としています。

その他

大学院生が主体となって企画する研究発表や研究会が開催され、博士後期課程の院生は研究の成果を毎年発行される研究紀要に発表することもできます。



受入制度

大学院研修員

学校・研究所、その他大学院における研修を必要とする公私の機関・団体等の職員で、所属長からの依頼または推薦があれば志願することができます。研修員は指導教員の指示に従い、研修事項に関連する講義等を聴講することができます。ただし単位の認定は行われません。

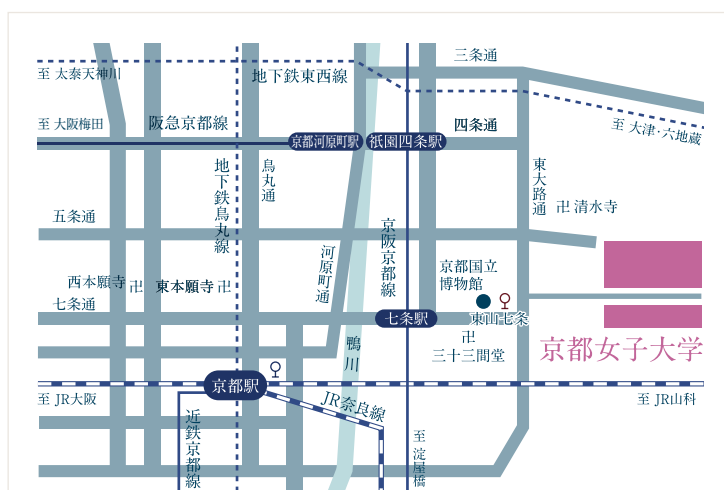
大学院科目等履修生

本学の規定を充たせば志願することができます。大学院では年間10単位まで受講することができます。

大学院研修者

修士の学位を取得した人が研究のさらなる研鑽のため、本大学院において研修を志願することができます。研修者は指導教員の指示に従い、研修事項に関連する講義等を聴講することができます。ただし単位の認定は行われません。





[本学への主な交通機関]

JR・近鉄「京都」駅 市バス(中央改札口前) 206 208 プリンセスラインバス (八条口前)	阪急「京都河原町」駅 市バス(6番出口) 207 プリンセスラインバス (2番出口から)	京阪「七条」駅 徒歩(東へ約900m)
--	--	-------------------------------

- ・市バスの場合はいずれも「東山七条」にて下車し、東へ徒歩5分
- ・プリンセスラインバスの場合はいずれも「京都女子大学前」で下車



京都女子大学大学院

[入試広報課]

TEL. 075-531-7054 FAX. 075-531-7222

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地(京都・東山七条)

URL <https://www.kyoto-wu.ac.jp/> e-mail nyuushi@kyoto-wu.ac.jp